

令和4年度

# 教育行政の基本方針と教育予算

静岡県教育委員会



# 目 次

## ◆施策

- ・ 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・ 静岡県教育振興基本計画施策体系・・・・・・・・ 2
- ・ 令和4年度 教育行政の基本方針・・・・・・・・ 3
- ・ 基本方針 取組説明・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

## ◆予算

- ・ 教育予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ・ 主要事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ・ 主要事業参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

## ◆組織

- ・ 教育委員会組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- ・ 県立教育施設の配置・・・・・・・・・・・・・・ 36

## ◆参考

- ・ 静岡県教育振興基本計画（2022年度～2025年度）成果指標・  
活動指標一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）・・・・・・・・・・・・ 43

## 基本理念：「有徳の人」の育成 ～誰一人取り残さない教育の実現～

### 「有徳の人」とは…

#### 1 知性・感性・身体能力など、自らの個性に応じて「才」を磨き、自立を目指す人

様々なことに興味・関心を持ちながら、自らの個性を生かし、自らの知性・感性や身体能力等を高めるために努力し続ける人

(見識を高める努力をする人、自分なりに勉強やスポーツを頑張る人、興味を持って文化・芸術に接する人、他人の協力を得て自分のやりたいことに打ち込む人 など)

#### 2 多様な生き方と価値観を認め、自他を大切にしながら「徳」を積む人

生き方や価値観の違いを認め合い、他人を思いやる気持ちはもとより、自分や自分の住んでいる地域、人だけでなくモノや自然などを大切にする姿勢を磨き続ける人

(何事にも感謝の気持ちを大切にする人、社会人としての規律を守る人、他人の立場を尊重し他人のことを思いやる人、困っている人に手を差し伸べる人 など)

#### 3 「才」を生かし「徳」を積み、社会や人のために貢献する「才徳兼備」の人

自らの個性を生かし、自他を大切にする心を持って、時には助け合いながら、社会や人のために行動する人

(科学の才能を社会の発展に生かす人、スポーツ選手として元気を与える人、ボランティア活動を行う人、地域で子どもの見守りをする人 など)

静岡県の新ビジョン（総合計画）

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり  
～東京時代から静岡時代へ～

ふじのくに「有徳の人」づくり大綱

「有徳の人」づくり宣言

一、「文・武・芸」  
三道の鼎立を実現  
します。

一、生涯にわたっ  
て自己を高める学  
びの場を提供し、  
多様な人材を生む  
教育環境を実現し  
ます。

一、地域ぐるみ、  
社会総がかりの教  
育を実現し、「才徳  
兼備」の人づくり  
を進めます。

第1章  
「文・武・芸」  
三道の鼎立を  
目指す教育の実現

第2章  
未来を切り拓く  
多様な人材を育む  
教育の実現

第3章  
社会総がかりで  
取り組む  
教育の実現

「知性」「感性」を磨く学びの充実

「技芸を磨く実学」の奨励

学びを支える魅力ある学校づくりの推進

多様性を尊重する教育の実現

グローバル・グローバル人材の育成

高等教育の充実

生涯を通じた学びの機会の充実

社会とともにある開かれた教育行政の推進

地域ぐるみの教育の推進

県教育振興基本計画

# 令和4年度 教育行政の基本方針

静岡県教育委員会では、新たな「ふじのくに『有徳の人』づくり大綱」に基づき、一人ひとりの中にある「才」と「徳」を高めることを通じて、本県の未来を担う「有徳の人」の育成を社会全体で推進していきます。

令和4年度は、大綱を踏まえた新教育振興基本計画に基づき、誰一人取り残さない教育の実現に向け、人それぞれに異なる価値観や特性などの多様性を尊重しながら、他者と協調して新たな価値を創造する力の育成に向け、以下の取組を学校・家庭・地域の連携・協働の下、重点的に推進します。 ※ゴシック体の項目は新たな視点による取組や特に充実を図る取組です。

## I 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

### 1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実

児童生徒一人ひとりの能力を最大限に発揮させるとともに、学びに向かう力・人間性、他者と協働する力を高める教育を推進します。

#### ◆個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、STEAM教育の推進
- ・静岡式35人学級編制の継続によるきめ細かな指導の充実
- ・小学校高学年の教科担任制導入促進による専門性の高い指導の充実
- ・教員等が情報を共有し高め合うプラットフォーム構築、学校と地域をつなぐコーディネート人材育成

#### ◆ICT等の活用による新たな学びの展開

- ・「ふじのくに学校教育情報化推進計画」に基づく取組の計画的な推進
- ・学びの個別最適化や校務効率化に向けた「スクールDX」推進とサポート体制の充実
- ・教職員のICT活用指導力の底上げ、ICTモラル教育、ネット依存対策の充実

#### ◆乳幼児の教育・保育の充実

- ・特別な配慮を必要とする幼児等への対応に係るモデル実証や幼児教育サポートチームの設置

#### ◆子どもの読書活動の推進

- ・幼少期からの成長過程に応じた本に親しむ機会の提供と読書活動の啓発

### 2 「技芸を磨く実学」の奨励

児童生徒が生き方や仕事に対する価値観について考え、希望する進路を実現できる力を育みます。また、スポーツに親しむ環境づくりや体力の向上を図ります。

#### ◆社会的・職業的自立に向けた教育の推進

- ・キャリア・パスポートの活用等による、児童生徒が自身の能力を肯定的に捉える機会の創出
- ・小・中・高・特における体系的・系統的なキャリア教育の推進

#### ◆スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進

- ・児童生徒の体力の現状分析を踏まえた改善、オリ・パラ選手の講演等による運動意欲向上
- ・生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動の推進に向けた部活動指導員の配置

### 3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

安定した教育基盤の整備や、時代に対応した多様で魅力ある学びの場づくりを進めます。

#### ◆高等学校の魅力化・特色化

- ・多様な学習ニーズに対応するオンリーワン・ハイスクール、演劇・スポーツなど新学科設置等の推進
- ・中山間地の小規模校における、地域と連携した生徒の全国募集
- ・「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」の取組検証と新しい県立高校の目指す姿の検討

#### ◆教職員の資質向上及び学校マネジメント機能の強化・学校における働き方改革の推進

- ・教員育成指標に基づく教職員の資質向上、第三者の視点も踏まえたコンプライアンスの徹底
- ・民間企業等への派遣や人事交流による教員の視野の拡大、事務職員の学校経営参画拡大
- ・健康管理システムの情報を効果的に活用した教職員のこころと体のサポートの充実
- ・「学校における業務改革プラン」に基づく業務の効率化、スクール・サポート・スタッフ等の配置充実
- ・学習・校務を可視化・連携させるシステム(LMS)を活用した働き方改革の検討

#### ◆学校施設等の安全・安心の確保

- ・学校施設の計画的な整備・建替え・長寿命化改修、特別支援学校の施設狭隘化解消
- ・県立学校の空調設置など教育環境の整備、省エネルギー効果の高い施設整備の推進
- ・第三者の専門的知見を交えた学校危機管理マニュアルの検証等による学校安全対策の実効性向上

## Ⅱ 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

### 1 多様性を尊重する教育の実現

多様な価値観を認め、互いに支え合う教育を推進するとともに、課題を抱える子どもたちを誰一人取り残すことのないよう、支援体制の充実を図ります。

#### ◆人権を尊重する教育の推進と人権文化の定着・多様な課題に応じたきめ細かい支援

- ・ジェンダー平等や性の多様性の尊重など、様々な人権課題に対応した教育の充実
- ・ヤングケアラー等、困難を抱える児童生徒等への教育・福祉が連携した学びの支援
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の配置拡充による相談体制等の強化
- ・様々な課題を抱えた高校生の居場所（サードプレイス）として校内居場所カフェの設置

#### ◆特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実

- ・インクルーシブ教育システムの理念に基づく「共生・共育」の推進
- ・特別支援学校のセンター的機能を活用した学校間や地域の支援機関とのネットワーク構築
- ・人工呼吸器装用児の保護者付添いの負担軽減に向けたモデル事業の実施

#### ◆外国人県民・外国人児童生徒への教育の充実

- ・外国人児童生徒等へのきめ細かな日本語指導、不就学解消の支援、キャリア形成の支援

### 2 グローバル・グローバル人材の育成

グローバルな視点と地域への関心を併せ持ち、国際社会や地域に貢献できる人材を育成します。

#### ◆国際的な学びと地域学の推進

- ・「ふじのくにグローバル人材育成基金」によるオンラインも活用した海外交流機会の提供
- ・県立高校への国際バカロレア教育の導入推進
- ・地域の歴史や文化等を知り、郷土のよさを実感できる学習機会の充実

#### ◆優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実

- ・シティズンシップ教育に向けた主権者教育・消費者教育等、SDGsアワードの創設

#### ◆地域産業を担う人材の育成

- ・企業・大学等と連携した高校の学び充実、AOI・MaOIプロジェクトと農業・水産高校の連携
- ・産業界から専門高校にCEOや技術者を招聘する「マイスター・ハイスクール」事業の推進

### 3 生涯を通じた学びの機会の充実

誰もが心豊かな人生を送れるよう、生涯にわたって学び続けられる環境づくりを推進します。

#### ◆全世代に対する学びの機会の充実・誰もが共に学ぶ機会の充実

- ・新県立中央図書館の整備推進、新しい生活様式やDXに対応した機能の充実
- ・県立夜間中学（ナイト・スクール・プログラム）開設（R5）に向けた準備

## Ⅲ 社会総がかりで取り組む教育の実現

### 1 社会とともにある開かれた教育行政の推進

地域や学校・市町の多様なニーズ、社会全体の意見を反映した開かれた教育行政を推進します。

#### ◆社会全体の意見を反映した教育行政の推進、市町と連携した教育行政の推進

- ・外部有識者等の意見を踏まえた新教育振興基本計画の取組の評価、施策への反映
- ・市町教育委員会への訪問等を通じた課題の聴取及び学校支援充実に向けた助言等

### 2 地域ぐるみの教育の推進

複雑化・多様化する教育課題の解決に向け、学校、家庭、地域、企業等の連携・協働を進め、地域ぐるみで子どもたちの学びや育ちを支える環境づくりに取り組みます。

#### ◆学校・家庭・地域の連携推進・家庭や地域における教育力の向上

- ・コミュニティ・スクールの設置推進・運営充実と地域学校協働活動との一体的推進
- ・地域住民・大学生等の協力により学習支援等を行う「しずおか寺子屋」の拡大
- ・寄附金を活用したグローバル・グローバル人材育成等に向けた取組
- ・家庭教育支援員の養成など家庭・地域の教育力向上や青少年声掛け運動等の促進

## I 「文・武・芸」 三道の鼎立を目指す教育の実現

### 1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実

#### ◆ 個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化

##### ○ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、STEAM教育の推進

＜義務教育課・高校教育課・特別支援教育課＞

- ◇ 小・中学校には、各種研修会や学校訪問等で教師用指導資料を活用し、子どもの資質・能力を育むための授業改善及びカリキュラム・マネジメントを推進するよう支援します。
- ◇ 高等学校では、県総合教育センターと連携し、教育課程説明会や教務主任研修会等において、カリキュラム・マネジメントの促進を図ります。
- ◇ 特別支援学校では、観点別学習状況の評価について、定期訪問や研修により理解を促進し、授業改善を図ります。
- ◇ STEAM教育を推進するため、実践事例の紹介、講義・演習を実施する教職員研修を行います。

##### ○ 静岡式 35 人学級編制の継続によるきめ細かな指導の充実

＜義務教育課＞

- ◇ 小学校第4学年から第6学年、中学校全学年では、下限のない35人以下学級編制を行い、学習面・生活面において、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。

##### ○ 小学校高学年の教科担任制導入促進による専門性の高い指導の充実

＜義務教育課＞

- ◇ 学習が高度化する小学校高学年において、加配措置、指導方法の研究等を進め、専科指導教員による専門性の高い教科指導を行い、教育の質の向上を図ります。

##### ○ 教員等が情報を共有し高め合うプラットフォーム構築、学校と地域をつなぐコーディネーター人材育成

＜教育政策課・義務教育課・高校教育課＞

- ◇ 学校と地域社会との連携を進めるためのオンラインプラットフォーム（基盤）づくりに向け、先進事例の共有や先進的な取組を実践している教員同士の公立・私立学校を超えたネットワーク形成等の機会として、シンポジウムを開催します。
- ◇ 学校と地域、大学等との連携協力、調整の役割を担うコーディネーターの育成について、国事業を活用しながら検討します。

#### ◆ ICT等の活用による新たな学びの展開

##### ○ 「ふじのくに学校教育情報化推進計画」に基づく取組の計画的な推進

＜教育DX推進課＞

- ◇ ICTを活用した教育の在り方やICT環境の整備計画などを具体化・明確化した「ふじのくに学校教育情報化推進計画」を策定し、学校教育の情報化に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。



## ○ 学びの個別最適化や校務効率化に向けた「スクールDX」推進とサポート体制の充実

＜教育DX推進課＞

- ◇ 学習、教育、学校運営の高度化・効率化を促進させるための仕組み（静岡型LMS）の構築に向け、モデル校における教育用デジタルツールと既存の成績処理システムとの連携の実証等、中長期的な基盤整備の最適な手法を検討します。
- ◇ 学校現場のICT活用を支援するため、ヘルプデスクの開設やICT支援員の派遣による授業支援等を行う「GIGAスクール運営支援センター」を設置します。

## ○ 教職員のICT活用指導力の底上げ、ICTモラル教育、ネット依存対策の充実

＜教育政策課・教育DX推進課・社会教育課＞

- ◇ ICT活用授業力向上研修や小・中学校におけるGIGAスクールサポート研修、人権教育の理念を取り入れた研修等の実施により、教職員のICT活用指導力の向上を図ります。
- ◇ Webシステムによるネット依存度のセルフチェックを促進するほか、ネットの利用を見直したい小・中学生を対象に、野外活動やカウンセリング等を取り入れた自然体験回復プログラムを実施します。

## ◆ 乳幼児の教育・保育の充実

### ○ 特別な配慮を必要とする幼児等への対応に係るモデル実証や幼児教育サポートチームの設置

＜義務教育課＞

- ◇ 外国籍等特別な配慮を必要とする幼児に対し、日本語指導やソーシャルワーク等の専門性を有する人材を活用しながら、幼児の実態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的に行う等、調査・研究し、本県におけるインクルーシブ保育システム構築を目指します。
- ◇ 社会福祉士等、多職種の専門家からなるサポートチームを設置し、幼児教育アドバイザーと協働で幼稚園等を支援します。

## ◆ 子どもの読書活動の推進

### ○ 幼少期からの成長過程に応じた本に親しむ機会の提供と読書活動の啓発

＜義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・社会教育課＞

- ◇ 読書ガイドブック「本とともにだち」を作成し、対象年齢の全ての子どもに配布するとともに、静岡県高等学校ビブリオバトルの開催や静岡県子ども読書アドバイザーの活動を通じて読書活動を推進し、子どもの読書習慣の定着を図ります。
- ◇ 各学校の司書教諭や学校司書を中心に、学校図書館の計画的な整備や効果的な活用を図ります。

## 2 「技芸を磨く実学」の奨励

### ◆ 社会的・職業的自立に向けた教育の推進

#### ○ キャリア・パスポートの活用等による、児童生徒が自身の能力を肯定的に捉える機会の創出

#### ○ 小・中・高・特における体系的・系統的なキャリア教育の推進

<義務教育課・高校教育課・特別支援教育課>

- ◇ キャリア・パスポートの活用等を通じて、児童生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、自己評価や他者評価を行う機会をつくり、児童生徒の主体的学びに向かう力を育みます。
- ◇ 小・中学校には、各校のキャリア教育を推進する者を対象とした研修会を実施し、国や県の方向性を確認し、各校のキャリア教育の取組やキャリア・パスポートの活用についてグループ協議を行うことで、各校における体系的・系統的なキャリア教育の充実を図ります。
- ◇ 高等学校では、経済団体・就業支援機関・NPO・大学等で構成する「静岡県キャリア教育推進協議会」を開催し、キャリア教育推進体制を整備するとともに、企業や大学との連携状況を関係団体等に発信します。
- ◇ 特別支援学校では、小学部段階から自立と社会参加に向け個別の教育支援計画を関係機関と共有し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を計画的に行います。

### ◆ スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進

#### ○ 児童生徒の体力の現状分析を踏まえた改善、オリ・パラ選手の講演等による運動意欲向上

<健康体育課>

- ◇ 各学校が、児童生徒の体力の現状を踏まえた取組をすることができるように、運動が苦手な子どもでも気軽に取り組むことができる「チャレンジシート」の追加や、運動用動画「ふじさんプログラム」を作成します。また、各学校への体力向上・水泳・武道等の実技指導協力者の派遣を充実させます。
- ◇ 東京2020オリンピック・パラリンピックの無形のレガシーとして、オリンピック・パラリンピック教育を承継し、児童生徒の運動やスポーツへの興味・関心を高め、進んで運動に取り組む態度の育成を目指して、オリンピック・パラリンピアンや県内プロスポーツチームの選手等を招請します。

#### ○ 生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動の推進に向けた部活動指導員の配置

<健康体育課>

- ◇ 地域人材の確保や研修機会の充実により指導者の資質向上を図るとともに、部活動指導員の配置を充実することで、顧問不足解消による部活動の維持、専門的指導による活動の質の向上等、生徒にとって望ましい運動部活動の環境整備に努めます。

### 3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

#### ◆ 高等学校の魅力化・特色化

##### ○ 多様な学習ニーズに対応するオンリーワン・ハイスクール、演劇・スポーツなど新学科設置等の推進 ＜高校教育課＞

- ◇ 国の普通科改革を先取りし、国内外の大学等と連携した高度かつ多様な学びの提供、地域社会や企業との連携、スポーツや演劇などの各分野における新学科等の具現化、中山間地域の生徒の学びの機会の保障を進めることで、多様な学習ニーズに応え、生徒の主体的な学習意欲の向上を図ります。

##### ○ 中山間地の小規模校における、地域と連携した生徒の全国募集 ＜高校教育課＞

- ◇ 少子化が進む中山間地に所在する小規模校においては、交流人口の増加による地域活性化を目指す自治体や地域住民による生徒の受入れのための取組と連携して、全国からの生徒募集を進めます。

##### ○ 「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」の取組検証と新しい県立高校の目指す姿の検討 ＜高校教育課＞

- ◇ 平成30年3月に「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」を策定した後、少子化の更なる進行、コロナ禍における遠隔教育の進展など、様々な状況の変化が生じているため、現計画の取組検証を行うとともに、新しい県立高校の目指す姿について改めて検討します。

#### ◆ 教職員の資質向上及び学校マネジメント機能の強化・学校における働き方改革の推進

##### ○ 教員育成指標に基づく教職員の資質向上、第三者の視点も踏まえたコンプライアンスの徹底 ＜教育総務課・教育政策課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課＞

- ◇ 教員等育成指標を改訂し、ICT活用指導力や業務改善を推進する力などを指標に位置付け、新たな時代に対応する教員像を示します。その上で、指標を踏まえた研修を実施することで、教員の資質向上を図ります。
- ◇ コンプライアンスの徹底のため、わいせつやセクハラ行為、飲酒運転の根絶等を内容とした校内研修を毎年実施し、教職員としての自覚や使命感を高めるとともに、事案が発生した際は、専門的知識を有する第三者の協力を得るなどして実態調査・検証等を行い、再発防止につなげる体制を整備し、組織として不祥事の根絶に努めます。

##### ○ 民間企業等への派遣や人事交流による教員の視野の拡大、事務職員の学校経営参画拡大 ＜教育総務課・教育政策課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課＞

- ◇ 教員個々の特性や意欲などを生かした交流や派遣を計画的に実施し、そこで得た幅広い視野や新しい知見を教育活動や学校運営に生かします。
- ◇ 小中交流異動や他校種との交流を230人規模で実施します。
- ◇ 民間企業の事業展開のスピード感、業務効率化等を体感するための民間企業への派遣を始め、大学院・在外教育施設・行政機関等へ40人規模で計画的に派遣します。
- ◇ 事務職員について、業務改善活動や学校事務の更なる効率化などにより、働きやすい職場環境を目指すとともに、教員との連携を強化することにより事務職員自らが取り組みたいと考える業務や教育課題に積極的に参画できる環境を整えます。

○ 健康管理システムの情報を効果的に活用した教職員のこころと体のサポートの充実

＜教育厚生課＞

- ◇ 教職員の健康情報や関連の人事情報等を一元管理する「健康管理システム」を導入し、関係者間での情報共有や分析及び可視化を進めることで、予防的ケアの取組を強化するとともに、教職員のこころと体のサポート体制の充実を図ります。

○ 「学校における業務改革プラン」に基づく業務の効率化、スクール・サポート・スタッフ等の配置充実

＜教育総務課・教育政策課・教育D X推進課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課＞

- ◇ 令和4年3月に改訂した「学校における業務改革プラン」に基づき、教職員個々の主体的取組や、校長のリーダーシップに基づく学校の組織的改善を促進するノウハウ等の共有や、ICTを活用した学習指導・校務・働き方の一体的改革を推進します。
- ◇ 小・中学校には、教員でなくてもできる業務を任せるスクール・サポート・スタッフを配置し、教員の負担軽減を図ることで、教員が児童生徒と向き合う時間を確保し、学校教育の質の向上を図ります。
- ◇ 特別支援学校では、新型コロナウイルス感染症対策として業務をサポートするスタッフを配置することで、児童生徒への安全・安心な教育環境を提供するとともに、教員が児童生徒と向き合う時間や教材研究の時間を確保することを目指します。
- ◇ 高等学校では、地域に在住する退職教員・大学生等の人材を活用した、放課後等の学習指導や教員の指導力向上支援、進路選択支援等の取組を行います。

○ 学習・校務を可視化・連携させるシステム（LMS）を活用した働き方改革の検討

＜教育D X推進課＞

- ◇ 業務のデジタル化を推進するとともに、統合型校務支援システムを含めたICTの活用を行うことで、業務の改善や効率化を図っていきます。
- ◇ デジタルツールの活用による学校連絡・情報共有サービスの先行導入校での運用・効果検証を行います。

◆ **学校施設等の安全・安心の確保**

○ 学校施設の計画的な整備・建替え・長寿命化改修、特別支援学校の施設狭隘化解消

＜教育施設課・特別支援教育課＞

- ◇ 老朽化した県立学校の建替えや改修等を計画的に進め、令和4年度は新たに2校4棟の建替えの設計に着手します。
- ◇ 特別支援学校の施設狭隘化の解消を図るため、「静岡県立特別支援学校施設整備基本計画」に基づき、引き続き計画的に特別支援学校の整備を推進します。

○ 県立学校の空調設置など教育環境の整備、省エネルギー効果の高い施設整備の推進

＜教育施設課＞

- ◇ 県立高等学校の空調設置については、普通教室の整備に続けて、令和4年度から特別教室の整備を進めます。
- ◇ 断熱性能の高い窓や外壁、LED照明、高効率型空調機及び自動水栓等の採用により、省エネルギー効果の高い施設整備を推進します。

○ 第三者の専門的知見を交えた学校危機管理マニュアルの検証等による学校安全対策の実行性向上 <健康体育課>

- ◇ 各学校の危機管理マニュアルや防災訓練の実施内容等が、学校の実情や児童生徒の実態を踏まえた内容となっているか等について、第三者の専門的知見を交えて検証し、学校の安全対策の実行性を向上させます。

## II 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

### 1 多様性を尊重する教育の実現

◆ 人権を尊重する教育の推進と人権文化の定着・多様な課題に応じたきめ細かい支援

○ ジェンダー平等や性の多様性の尊重など、様々な人権課題に対応した教育の充実 <教育政策課>

- ◇ 子どもの人権感覚と自己肯定感を育むため、教職員研修の実施や人権教育研究指定校の成果の普及、様々な人権課題の学習例を掲載した「人権教育の手引き（人権教育指導資料）」の活用促進等により、学校における人権教育の取組を推進します。

○ ヤングケアラー等、困難を抱える児童生徒等への教育と福祉が連携した学びの支援 <義務教育課・高校教育課・特別支援教育課>

- ◇ 顕在化しているヤングケアラーへの支援強化として、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置を拡充し、相談体制の充実を図るとともに、関係機関と連携した組織的な支援を行います。
- ◇ 研修会等の機会を活用し、教職員のヤングケアラーに対する理解促進を図ります。

○ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の配置拡充による相談体制等の強化 <義務教育課・高校教育課・特別支援教育課>

- ◇ 不登校やいじめ等、生徒指導上の諸課題に対応するため、児童生徒の心理に関して専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー等を学校に配置し、児童生徒へのカウンセリング、教職員及び保護者に対する助言・援助等を行います。また、不登校を未然に防ぐ目的で訪問カウンセリングの充実を図ります。  
小・中学校：全市町（政令市除く）140人規模、高等学校：35人規模、  
特別支援学校：13人規模
- ◇ 社会福祉等の専門的な知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛け及び必要に応じた支援を行います。  
小・中学校：全市町（政令市除く）50人程度、高等学校：11人規模
- ◇ 教育委員会と県弁護士会で締結した協定に基づき、スクールロイヤーの活用を図り、学校におけるいじめの予防教育の推進支援や生徒指導上の諸課題に対する解決支援を行います。

○ 様々な課題を抱えた高校生の居場所（サードプレイス）として校内居場所カフェの設置 ＜高校教育課＞

- ◇ 静岡中央高校（単位制の定時制）において、週1回、外部人材を活用して、放課後に生徒同士や教員でないスタッフと気軽に会話を楽しめる安心・安全な場として、校内に「気づきカフェ」を設置し、生徒が登校しやすい環境を整え支援を行います。

◆ **特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実**

○ インクルーシブ教育システムの理念に基づく「共生・共育」の推進

＜義務教育課・高校教育課・特別支援教育課＞

- ◇ 障害のある子どもとない子どもが可能な限り同じ場で共に学ぶことを目指すインクルーシブ教育システムの理念の下、「交流籍」を活用した交流及び共同学習や、県立高等学校と併設された特別支援学校分校における共生・共育を推進していきます。
- ◇ 児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズに的確に応えるため、保護者や保健、福祉、市町教育委員会等の関係機関と情報の共有を行い、連携強化を目指します。
- ◇ 静岡県のインクルーシブ教育システムの在り方に関する検討の場を設け、教育現場での課題の把握と解消に努めます。
- ◇ リーフレットや研修の機会を活用し、教員に対して、インクルーシブ教育システムの理念や「共生・共育」についての理解を深めるための働き掛けをしていきます。
- ◇ 小・中学校には、医療的ケアを実施している市町や学校を対象とした「小・中学校医療的ケア連携協議会」の実施や、「小・中学校医療的ケアの手引き」の活用により、体制整備のための支援を行います。
- ◇ 高等学校において、肢体不自由のある生徒に対して、学校生活支援のために介助員を配置し、支援を行います。

○ 特別支援学校のセンター的機能を活用した学校間や地域の支援機関とのネットワーク構築

＜義務教育課・高校教育課・特別支援教育課＞

- ◇ 小・中学校には、1～3年目の特別支援学級・通教指導教室担当者を対象とした研修会において、特別支援に係る具体的事例の紹介や、グループワークの機会を設定し、教員の指導力向上を図ります。
- ◇ 高等学校では、全県立高校に任命している特別支援教育コーディネーターを中心に、教員の専門性向上を図るとともに、特別支援学校のセンター的機能を活用することで個々の生徒の実態に応じた適切な支援を行います。また、特別支援学校との人事交流を計画的に行います。
- ◇ 特別支援体制整備研究協議会を開催し、教育、保健、福祉等の関係者が情報交換や協議等を行うことで、特別な支援を必要とする児童生徒等に対する地域及び校内の支援体制の充実を図ります。
- ◇ 特別支援学校のセンター的機能に係る調査の結果をもとに、特別支援学校のセンター的機能の活用やインクルーシブ教育システムに関するリーフレット等を作成し、その周知に努めます。

○ 人工呼吸器装用児の保護者付添いの負担軽減に向けたモデル事業の実施

＜特別支援教育課＞

- ◇ 特別支援学校における人工呼吸器装用児の保護者付添いの負担を軽減するとともに、児童生徒等の自立を促すため、人工呼吸器管理を看護師が行う医療的ケアとしたモデル事業を実施し、学校現場での体制整備を図ります。

## ◆ 外国人県民・外国人児童生徒への教育の充実

### ○ 外国人児童生徒等へのきめ細かな日本語指導、不就学解消の支援、キャリア形成の支援

＜義務教育課・高校教育課＞

- ◇ 小・中学校には、日本語指導のための加配教員や非常勤講師を計画的に配置し、習熟度に応じた日本語指導を行います。また、日本語指導コーディネーターを学校や市町教育委員会に派遣し、指導計画や指導方法に関する指導助言を行うことで、外国人児童生徒等教育の充実を図ります。
- ◇ 外国人県民の子どもの不就学を解消するため、県と市町の関係課が連携し、実態把握のための調査実施や就学促進に向けた取組を推進します。
- ◇ 高等学校では、日本語教育コーディネーターやキャリアコンサルティング技能士などの支援員を学校に巡回派遣し、外国人生徒に対する日本語学習講座の開催と生徒個々の実情に応じたキャリア形成支援を行います。

## 2 グローバル・グローバル人材の育成

## ◆ 国際的な学びと地域学の推進

### ○ 「ふじのくにグローバル人材育成基金」によるオンラインも活用した海外交流機会の提供

＜教育政策課・高校教育課＞

- ◇ 基金を活用し、学校・市町・NPO等が実施する語学研修・ボランティア活動等に参加する高校生への支援や、県内企業の海外事業所等における海外インターンシップ（普通科含む）等の実施、教職員の海外研修などを通じて、250人規模の海外体験を促進します。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に関わらず、留学等に意欲のある者を後押しするため、海外大学と連携したオンライン英会話やグローバルハイスクール研究指定校を中心とした国際交流（海外連携校等との交流）などオンラインとオフライン（実際の海外渡航等）を組み合わせた国際交流の事業を計画し、ハイブリッド型の取組を通じて異文化交流を促進します。

### ○ 県立高校への国際バカロレア教育の導入推進

＜高校教育課＞

- ◇ グローバル化の進展に伴い、真に国際社会で活躍できる人材を育成するため、探究的学習を特色とする国際バカロレア教育の県立高校への導入実現に向け、導入校を決定するとともに、国際バカロレア機構への申請準備や教員の育成に取り組みます。

### ○ 地域の歴史や文化等を知り、郷土のよさを実感できる学習機会の充実

＜義務教育課・高校教育課＞

- ◇ 小・中学校では、地域のひと・もの・ことを授業等で効果的に活用し、地域の自然や産業等に関する学習を通して、地域貢献の意欲、態度等を育み、地域への愛着を深めます。
- ◇ 高等学校では、地元自治体等と連携・協働しながら、地域の自然や事象などを学ぶことによって郷土観を確立し、地域活性化や地域づくりを図っていく学習活動として、「地域学」を推進します。

## ◆ 優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実

### ○ シティズンシップ教育に向けた主権者教育・消費者教育等、SDGsアワードの創設

＜教育政策課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課＞

- ◇ 民法改正による成年年齢の引下げに対応するため、年次別研修や希望研修を通じて、自立した主権者・消費者育成に必要な教員の資質・能力を育成します。
- ◇ 自立した主体として、児童生徒が持続可能な社会づくりに参画するために必要な資質・能力の育成に資する研修を実施します。
- ◇ 小・中学校には、家庭科、社会科を中心に、各学校における消費者教育の充実に関する周知を行うとともに、各関係機関と連携し、消費者教育の一層の推進を図ります。
- ◇ 高等学校では、選挙管理委員会や県くらし・環境部等と連携を取りながら、主権者教育及び消費者教育の充実を図ります。
- ◇ 持続可能な地域社会づくりに向けて挑戦するリーダーシップを醸成するため、学校のSDGs実践事例等の募集・表彰を行う、SDGsスクールアワードを開催します。

## ◆ 地域の産業を担う人材の育成

### ○ 企業・大学等と連携した高校の学び充実、AOI・MaOIプロジェクトと農業・水産高校の連携

＜高校教育課＞

- ◇ 「プロフェッショナルへの道」事業において、企業から高度な技術を持った専門人材や大学等から専門分野の研究者を学校に招いたり、高校生が大学、専門学校等に出向いて研究体験をしたりすることで、未来のスペシャリスト育成を図ります。
- ◇ 農林水産業の生産性革新に対応できる人材育成を推進するため、AOI・MaOIプロジェクト等の高度な研究機関との連携を図ります。

### ○ 産業界から専門高校にCEOや技術者を招聘する「マイスター・ハイスクール」事業の推進

＜高校教育課＞

- ◇ 自治体、産業界と専門高校が連携し、産業界からマイスター・ハイスクールCEO及び技術者を招聘し、学科や教育課程の改善、実習環境の提供や技術指導等を行い、地域の成長産業であるロボティクス分野等で活躍できる専門的職業人材の育成システム構築を図ります。

## 3 生涯を通じた学びの機会の充実

## ◆ 全世代に対する学びの機会の充実・誰もが共に学ぶ機会の充実

### ○ 新県立中央図書館の整備推進、新しい生活様式やDXに対応した機能の充実

＜社会教育課＞

- ◇ 情報社会における新たな知の拠点として図書館のデジタルトランスフォーメーション(DX)を進め、県民の多様な学びや活動を支える新県立中央図書館の整備について、令和9年度の開館を目指して建築設計を進めます。

### ○ 県立夜間中学(ナイト・スクール・プログラム)開設(R5)に向けた準備

＜義務教育課＞

- ◇ 設置基本方針に基づき、入学者募集、教育課程整備や教職員配置、施設・設備の整備等を行い、令和5年4月の開校に向けた準備を行います。



## Ⅲ 社会総がかりで取り組む教育の実現

### 1 社会とともにある開かれた教育行政の推進

#### ◆ 社会全体の意見を反映した教育行政の推進、市町と連携した教育行政の推進

##### ○ 外部有識者等の意見を踏まえた新教育振興基本計画の取組の評価、施策への反映

＜教育政策課＞

- ◇ 静岡県教育振興基本計画(2022年度～2025年度)の進行管理に当たり、総合教育課と連携し、施策の推進状況や、「成果指標・活動指標」の達成状況を明らかにした上で、外部有識者からなる「県教育振興基本計画推進委員会」の意見等を踏まえ、幅広い観点から客観的かつ公正な点検・評価を実施し、その結果を次年度以降の施策に反映させていきます。

##### ○ 市町教育委員会への訪問等を通じた課題の聴取及び学校支援充実に向けた助言等

＜教育政策課・義務教育課＞

- ◇ 県と政令市の施策・取組を確認するとともに、各自治体の教育行政に生かすことを目的としての意見交換を開催します。
- ◇ 市町教育委員会や小・中学校への訪問や授業参観、意見交換などを通して、市町や学校における教育課題を把握し、助言等を行います。

### 2 地域ぐるみの教育の推進

#### ◆ 学校・家庭・地域の連携推進・家庭や地域における教育力の向上

##### ○ コミュニティ・スクールの設置推進・運営充実と地域学校協働活動との一体的推進

＜義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・社会教育課＞

- ◇ 小・中学校には、出前講座、市町教育委員会や学校関係者等を対象とした協議会の開催等を通じて、各市町におけるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入の体制づくりを支援します。
- ◇ 高等学校では40校に、特別支援学校では全校に、それぞれコミュニティ・スクールを拡大し、地域とともにある学校づくりを推進します。
- ◇ 地域学校協働活動推進員を50人程度養成するとともに、先進的な取組を行っている市町の事例紹介や学校・家庭・地域・行政・企業等の各関係者が情報交換をする研修会を3箇所で開催し、地域ぐるみの教育の推進を図ります。

##### ○ 地域住民・大学生等の協力により学習支援等を行う「しずおか寺子屋」の拡大

＜社会教育課＞

- ◇ 地域住民による学習支援を実施する市町への助成や高校生を活用した学習支援モデル事業を実施するとともに、地域における宿泊・体験活動実施団体や保護者に寄り添い届ける家庭教育支援を行う市町への助成を行います。また、各地域におけるネットワークづくりのための研修会を3箇所で開催します。

○ 寄附金を活用したグローバル・グローバル人材育成等に向けた取組

＜教育政策課＞

- ◇ 社会総がかりで取り組む教育を推進するため、企業や県民からの寄附金を活用して「Dream 授業・賀茂版」、SDGs スクールアワードの開催等によるグローバル・グローバル人材の育成に取り組めます。

○ 家庭教育支援員の養成など家庭・地域の教育力向上や青少年声掛け運動等の促進

＜社会教育課＞

- ◇ 家庭教育基礎講座やフォローアップ研修会を各3箇所を実施するとともに、家庭教育支援チームの強化促進や企業内家庭教育講座の実施など、保護者に寄り添い届けるという視点に立った支援活動を推進します。
- ◇ 効果的な取組事例を共有する研修会の開催など、各市町における「地域の青少年声掛け運動」の充実を図ります。

## 教育予算

静岡県一般会計予算 1兆3,643億6,552万円余中、教育委員会事務局所管分は2,110億4,094万円余、前年度当初予算に比べ1.9%の増、割合は15.5%となります。

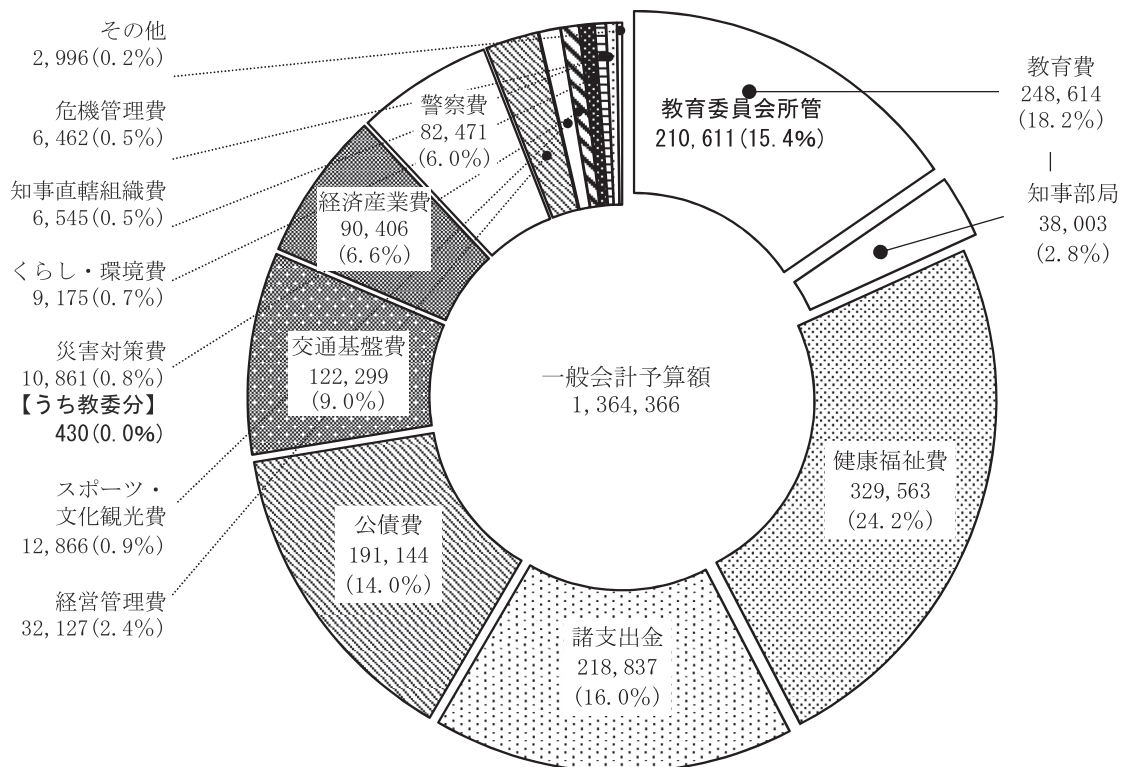
### 1. 歳出予算

(単位:千円)

区 分	令和3年度 当初予算	令和4年度 当初予算	増 減	
			増 減	伸 率
一 般 会 計 予 算	1,309,400,000	1,364,365,526	54,965,526	4.2%
教 育 費	245,838,388	248,613,961	2,775,573	1.1%
( 割 合 )	( 18.8% )	( 18.2% )		
教育委員会 事務局所管(a)	206,730,057	210,610,941	3,880,884	1.9%
( 割 合 )	( 15.8% )	( 15.4% )		
災 害 対 策 費	10,722,752	10,861,341	138,589	1.3%
( 割 合 )	( 0.8% )	( 0.8% )		
教育委員会 事務局所管(b)	430,000	430,000	0	0.0%
( 割 合 )	( 0.0% )	( 0.0% )		
教育委員会所管分計(a+b)	207,160,057	211,040,941	3,880,884	1.9%
( 割 合 )	( 15.8% )	( 15.5% )		

### 令和4年度当初予算の内訳

(単位:百万円)



※ 表示単位未満の端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合があります。

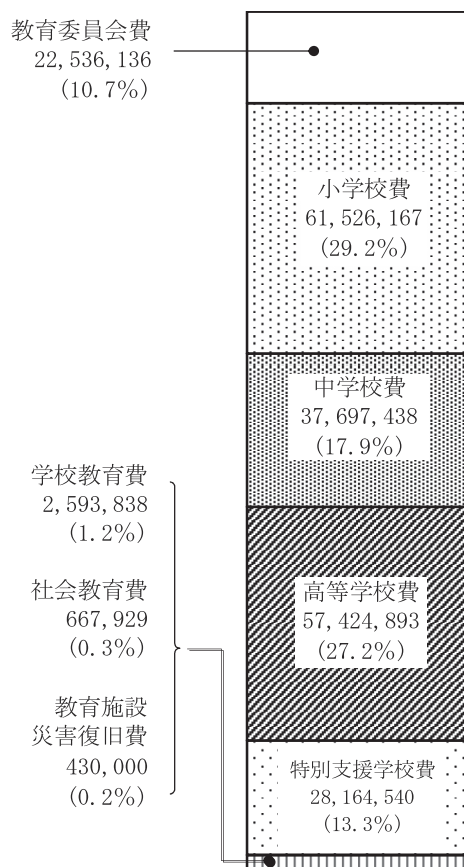
## 2. 目的別予算（教育委員会事務局所管分）

(単位:千円)

区 分	予 算	財 源 内 訳							
		国庫支出金	寄附金	使・手数料	諸収入	財産収入	繰入金	県 債	一般歳入
教育委員会費	22,536,136	43,700	26,500	17,179	72,867	79,057	0	12,442,000	9,854,833
小 学 校 費	61,526,167	14,218,139	0	0	202,353	0	0	0	47,105,675
中 学 校 費	37,697,438	8,701,306	0	0	115,861	0	0	0	28,880,271
高 等 学 校 費	57,424,893	5,816,566	0	6,354,738	244,130	140,518	0	0	44,868,941
特別支援学校費	28,164,540	4,706,666	0	0	214,888	10,331	0	0	23,232,655
学 校 教 育 費	2,593,838	439,459	0	0	146,852	0	59,700	0	1,947,827
社 会 教 育 費	667,929	47,330	4,020	7,030	61,036	0	0	13,000	535,513
教育施設災害復旧費	430,000	266,666	0	0	0	0	0	163,000	334
歳 入 異 動	0	0	0	0	119,497	53,068	0	0	△172,565
計	211,040,941	34,239,832	30,520	6,378,947	1,177,484	282,974	59,700	12,618,000	156,253,484

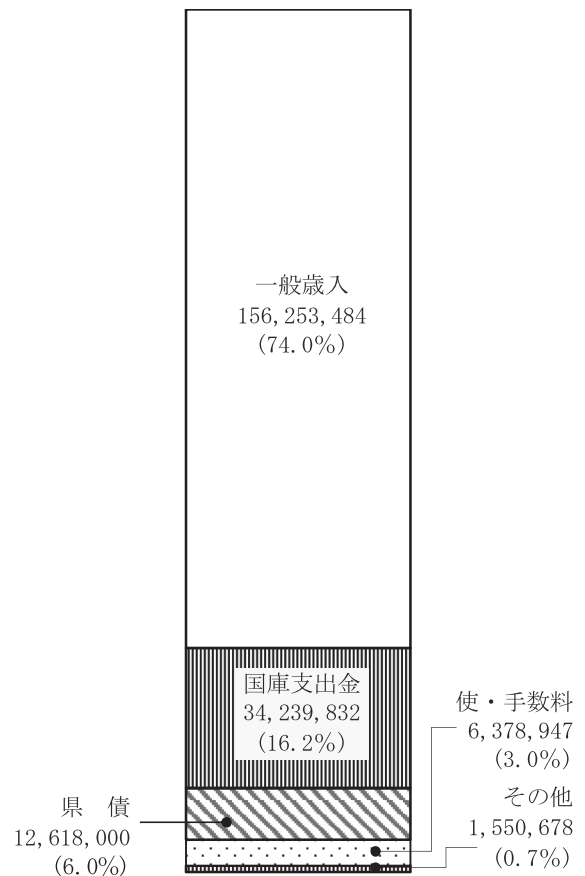
### 目的別内訳

(単位:千円)



### 財源内訳

(単位:千円)



※ 表示単位未満の端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合があります。

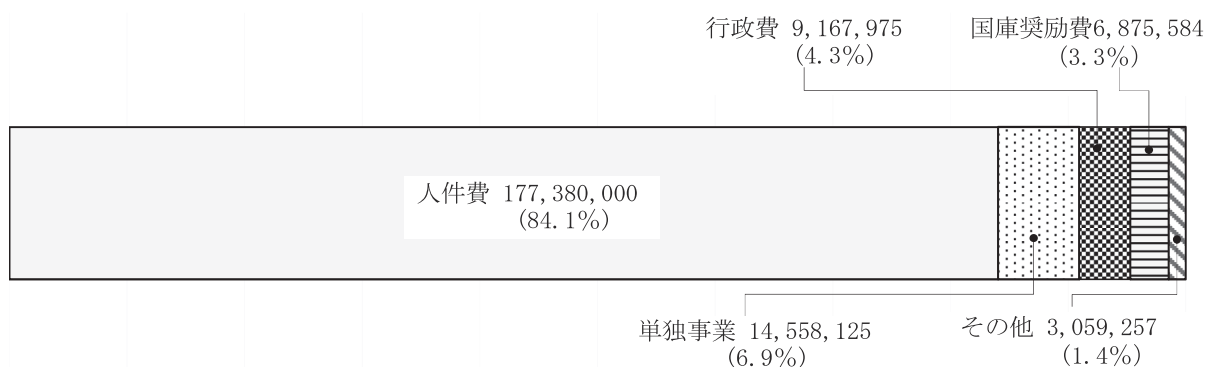
### 3. 性質別予算（教育委員会事務局所管分）

（単位：千円）

区 分	令和3年度当初予算		令和4年度当初予算		増 減	伸 率	
		構成比		構成比			
人 件 費 (a)	180,358,000	87.1%	177,380,000	84.1%	△ 2,978,000	△ 1.7%	
事 業 費 (b) (教育費+災害対策費)	26,802,057	12.9%	33,660,941	15.9%	6,858,884	25.6%	
教育費	行 政 費	9,659,619	4.7%	9,167,975	4.3%	△ 491,644	△ 5.1%
	庁 舎 持 等 費 維 持 費	1,723,729	0.8%	2,273,384	1.1%	549,655	31.9%
	国 庫 奨 励 費	7,212,150	3.5%	6,875,584	3.3%	△ 336,566	△ 4.7%
	県 費 奨 励 費	235,998	0.1%	243,770	0.1%	7,772	3.3%
	積 立 金	40,000	0.0%	32,303	0.0%	△ 7,697	△ 19.2%
	各 部 公 共	307,800	0.1%	63,800	0.0%	△ 244,000	△ 79.3%
	単 独 事 業	7,176,761	3.5%	14,558,125	6.9%	7,381,364	102.9%
	うち施設整備関連	6,635,300	3.2%	14,052,400	6.7%	7,417,100	111.8%
	調 査 費	16,000	0.0%	16,000	0.0%	0	0.0%
災 害 対 策 費	補 助 現 年 災	400,000	0.2%	400,000	0.2%	0	0.0%
	単 独 現 年 災	30,000	0.0%	30,000	0.0%	0	0.0%
合 計 ( a + b )	207,160,057	100.0%	211,040,941	100.0%	3,880,884	1.9%	

内訳

（単位：千円）



※ 表示単位未満の端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合があります。

## 主要事業

- ・静岡県教育振興基本計画(R4～)の構成に基づく
- ・◎は主要事業参考資料の掲載あり
- ・罫は今年度新規事業
- ・予算額の単位は「千円」

### 第1章 「文・武・芸」の三道の鼎立を目指す教育の実現

主要事業名	予算額	課	事業概要
<b>1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実</b>			
静岡式35人学級編制		国加配及び 県単独措置 義務教育課	小・中学校における35人学級編制の導入により、児童生徒へのきめ細かな指導・支援の充実を図る
小中学校学習支援事業費	3,630	義務教育課	学力向上推進プロジェクトにより、義務教育9年間の学習支援体制の充実を図る
高等学校管理費	2,485,300	高校教育課	県立高等学校90校及び県立高等学校中等部2校を管理運営する
◎ 罫 スクールDX推進事業費	78,200	教育DX 推進課	デジタル技術を活用した学習や教育の新しいスタイルとなる「スクールDX」を推進する
静岡県学校情報化推進事業費	382,000	教育DX 推進課	教育総合ネットワークシステムの保守運用等を行う
ネット依存対策推進事業費	3,600	社会教育課	Webシステムを活用したネット依存のセルフチェックの促進や自然体験回復プログラム等を実施する
幼児教育支援充実事業費	8,500	義務教育課	小学校への円滑な接続の支援、幼児への教育効果の実証研究、幼児教育サポートチームによる支援を行う
「読書県しずおか」づくり総合推進事業費	1,942	社会教育課	読書ガイドブックの作成、配布や読書アドバイザーの養成等を行い、「読書県しずおか」の構築を図る
<b>2 「技芸を磨く実学」の奨励</b>			
地域産業を支える実学奨励事業費	20,000	高校教育課	実学系の専門高校等に最新設備を整備し、より実践的な専門教育を行う
静岡茶愛飲定着化事業費	5,500	健康体育課	県内小中学校の児童生徒等への静岡茶の食育の機会を確保するため、体験活動等を行う
◎ スポーツ人材活用推進事業費	33,068	健康体育課	部活動の充実した指導の実現を図るため、スポーツエキスパート等の外部指導者の活用を推進する
◎ 罫 部活動指導員育成配置事業費	93,100	健康体育課	部活動の充実した指導の実現や教員の負担軽減を図るため、部活動指導員を配置する
罫 子供の体力向上推進事業費	18,900	健康体育課	子どもの体力を向上させるため、実技指導者等を派遣する
<b>3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進</b>			
◎ 新時代を拓く高校教育推進事業費 (オンリーワン・ハイスクール)	65,000	高校教育課	新時代の多様な学習ニーズに対応するため、普通科の特色化、新学科の具現化等を進める
教職員総合研修事業費	36,341	教育政策課	静岡県教員等育成指標に基づき、教職員の資質向上研修等を行う
学び続ける教員支援事業費	4,260	義務教育課 高校教育課 特別支援教育課	教員がより高い専門性、確かな指導力を身につける上位免許状等取得のため教員免許認定講習を行う
教職員健康管理事業費	233,758	教育厚生課	県立学校教職員等に対して健康診断、保健指導、メンタルヘルス対策等を実施する
◎ スクール・サポート・スタッフ配置事業費	434,400	義務教育課	教員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、事務作業等の支援スタッフを公立小・中学校全校に配置する

主要事業名	予算額	課	事業概要
◎ 特別支援学校新型コロナ対策業務サポート事業費	121,100	特別支援教育課	教員の負担軽減のため、特別支援学校に消毒作業等を行う支援スタッフを配置する
◎ 県立学校等施設整備事業費	4,506,300	教育施設課	県立学校等の施設整備を計画的に行う ・伊豆伊東高等学校 ・静岡地区新特別支援学校 ほか
◎ 県立学校等長寿命化事業費	9,546,100	教育施設課	老朽化した県立学校の建替えや改修等を計画的に行う ・2校4棟の建替えに着手
◎ 県立学校等修繕費	2,194,800	教育施設課	県立学校等の修繕、改修及び高等学校の空調整備を行う
学校安全総合推進事業費	10,268	健康体育課	学校安全担当者研修の実施、学校安全計画の充実等、児童生徒に対する「命を守る教育」を推進する
補助現年災県立学校等災害復旧費	400,000	教育施設課	台風等の災害により被害を受けた教育施設の災害復旧を行う
単独現年災県立学校等災害復旧費	30,000	教育施設課	台風等の災害により被害を受けた教育施設の小規模な災害復旧を行う

## 第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

主要事業名	予算額	課	事業概要
<b>1 多様性を尊重する教育の実現</b>			
人権教育総合推進関連事業費	3,425	教育政策課	人権教育に関する研修会の実施、市町人権教育連絡協議会への助成等を行う
◎ ハートフルサポート充実事業費	391,700	義務教育課	生徒指導上の諸課題に対応するため、公立の小・中学校及び特別支援学校にスクールカウンセラー等を配置する
特別支援教育の充実	定数活用	義務教育課	小・中学校における特別支援教育の充実を図るため、多人数の特別支援学級に非常勤講師を配置する
高等学校等奨学事業費	609,436	高校教育課	修学困難な生徒に奨学金の貸与、給付を行う
高等学校就学支援事業費	5,601,633	高校教育課	公立高等学校等の生徒に対して就学支援金を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図る
◎ 生徒指導等推進事業費	4,965	高校教育課	子どもの心の健康問題やいじめ、不登校等に対する相談体制や指導の充実を図る
スクールロイヤー活用事業費	4,058	義務教育課 高校教育課 特別支援教育課	学校における諸問題の早期解消やいじめ等の未然防止を図るため、法務の専門家への相談体制を構築する
◎ きめ細かな生徒支援充実事業費 (不登校等の生徒への支援)	78,998	高校教育課	不登校や要介助等の生徒に対する支援のためのスクールカウンセラーや介助員等を配置する
青少年健全育成費 (子ども若者支援)	4,401	社会教育課	カウンセリング機能とフリースペース機能を備えた「アンダント」の運営を行う
特別支援学校管理運営費	1,481,000	特別支援教育課	特別支援学校の管理運営、スクールバスの運行を行う
特別支援学校就学奨励費	504,000	特別支援教育課	特別支援学校の児童生徒に対し学用品、通学費等の支援を行う
特別支援学校作業実習費	10,622	特別支援教育課	理療(あんま、マッサージ)及び販売の実習を行う
◎ 特別支援学校人工呼吸器装用児受入体制整備モデル事業費	3,300	特別支援教育課	人工呼吸器装用児に付添う保護者の負担軽減のため、専任看護師を試験的に配置し、受入体制を検証する

主要事業名	予算額	課	事業概要
医療的ケア児等に対する支援の充実	定数活用	特別支援教育課	医療的ケア児とその家族に対する支援のため、特別支援学校に看護師を配置する
特別支援学校超早期教育推進事業費	12,800	特別支援教育課	視覚・聴覚に障害のある乳幼児及びその保護者に対して指導、助言を行う
特別支援学校外部専門員活用事業費	27,568	特別支援教育課	生徒の特性に合わせた就職先を開拓する就労促進専門員を配置する
スクールバス新型コロナウイルス感染症対策事業費	338,000	特別支援教育課	特別支援学校のスクールバス内の密状態を解消するための増車を行う
小中学校特別支援教育充実事業費	84,961	義務教育課	公立小・中学校の通常学級における特別支援教育の充実を図るため、学習支援員を配置する
◎ 日本語指導を必要とする外国人児童生徒支援	定数活用	義務教育課	日本語指導を必要とする外国人児童生徒等に対応するため、小・中学校へ非常勤講師配置等を行う
◎ 外国人等学ぶ機会拡充事業費	15,400	義務教育課	日本語指導が必要な外国人児童生徒等が安心して学べるため、相談員等を配置する
◎ きめ細かな生徒支援充実事業費(外国人支援)	22,050	高校教育課	外国人生徒への日本語教育、キャリア形成支援及び学習支援員の配置を行う

## 2 グローバル・グローバル人材の育成

グローバル人材育成事業費	45,000	教育政策課	基金を活用して、高校生の海外留学や語学研修・教職員の海外研修等を支援する
青少年の国際交流推進事業費	12,900	教育政策課 高校教育課 社会教育課	東アジアなど海外との交流活動により、児童生徒の多様な体験活動や青少年リーダーの育成等を推進する
世界にはばたく人材育成事業費	8,115	高校教育課	国際社会で活躍できる人材を育成するため、英語教育の充実を図る
外国語教育推進事業費	435,861	高校教育課	国際社会で活躍できる人材を育成するため、県立高校全校に外国語指導講師(ALT)を配置する
◎ 国際バカロレア教育導入推進事業費	2,000	高校教育課	国際社会で活躍できる人材を育成するため、県立高等学校への国際バカロレア教育の導入に向けた準備を進める
実学推進フロンティア事業費	27,000	高校教育課	高度な知識や技術を修得することにより、第一線で活躍できる人材を育成する
◎ 新時代を拓く高校教育推進事業費(プロフェッショナルへの道)	35,000	高校教育課	企業の熟練技能者や大学の研究者等の協力により、高校生の高度な技術・技能の習得を推進する
◎ 実業家・マイスター・ハイスクール事業費	13,000	高校教育課	産業界から技術者等を招聘し、技術指導や学科、教育課程の改善及び人材育成を行う
高校生就職マッチング対策事業費	20,000	高校教育課	県立高校に就職やインターンシップ実施の支援のための就職コーディネーターを配置する
就職支援教員の配置	国加配	高校教育課	県立高校に就職支援のためのジョブ・サポート・ティーチャーを配置する

## 3 高等教育の充実

※スポーツ・文化観光部の取組が中心です



主要事業名	予算額	課	事業概要
<b>4 生涯を通じた学びの機会の充実</b>			
地域の教育力向上推進事業費	1,092	社会教育課	地域学校協働活動推進員等養成講座、社会教育指導者研修及び公民館職員研修を行う
生涯学習情報発信事業費	973	社会教育課	各種講座に関する情報をホームページで提供することにより、生涯学習の推進を図る
次代を担う青少年育成事業費	3,300	社会教育課	青少年の健全育成を推進するため、青少年関係団体に対して支援する
青少年の家等管理運営費	374,078	社会教育課	指導者養成や体験活動等を実施するとともに、青少年の家等の管理運営を行う
県立中央図書館管理運営費	95,093	社会教育課	県立中央図書館の管理運営を行う
◎ 県立中央図書館資料充実費	91,000	社会教育課	図書、郷土資料、逐次刊行物、電子書籍の購入等を行う
◎ 新県立中央図書館整備事業費	33,800	社会教育課	東静岡駅南口県有地への県立中央図書館の整備に向け、建築設計等を行う
◎ 夜間中学設置事業費	47,100	義務教育課	義務教育の機会を保障するため、「県立夜間中学(ナイト・スクール・プログラム)」を設置する

### 第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現

主要事業名	予算額	課	事業概要
<b>1 社会とともにある開かれた教育行政の推進</b>			
教育行政運営費 (生涯学習総合推進事業費)	4,120	教育政策課	教育委員会の政策調整のほか、広聴広報活動及び調査統計等を行う
<b>2 地域ぐるみの教育の推進</b>			
コミュニティ・スクール推進事業費 (小・中学校)	3,877	義務教育課	コミュニティ・スクールの導入を目指す地域の組織や体制づくりを支援する
コミュニティ・スクール推進事業費 (高等学校、特別支援学校)	10,733	高校教育課 特別支援教育課	県立高校、特別支援学校においてコミュニティ・スクールを推進する
地域学校協働活動推進事業費	41,950	社会教育課	地域住民の参画による「地域学校協働本部」を設置し、地域ぐるみで子どもを育てる体制を構築する
社会教育関係団体育成事業費	2,460	社会教育課	社会教育関係団体に対して支援を行う
◎ 圏 ふじのくに「個が輝く」人材育成事業費	8,000	教育政策課	寄附金を活用して、家庭や地域における教育力の向上やグローバル・グローバル人材の育成を進める
◎ 「しずおか寺子屋」推進事業費	10,250	社会教育課	地域での学習支援や体験活動、保護者の学びを支援し、社会総がかりで取り組む「しずおか寺子屋」を推進する
家庭教育支援事業費	1,890	社会教育課	家庭教育支援員を養成し、家庭教育支援チームの活動を推進するなど、家庭教育支援の充実を図る
青少年健全育成費 (体験活動・啓発活動)	2,100	社会教育課	青少年の健全育成に必要な体験活動や啓発活動等を実施する

主要事業参考資料

事業名	予算額	R4	78,200 千円	担当課(室)	R4	教育DX推進課
		R3	36,800 千円 (6月・12月補正93,200千円) (2月補正560,000千円)		R3	教育政策課
<p>1 事業目的 多様な子どもたちを誰一人取り残さない教育を実現するため、デジタル技術を活用した学習や教育の新しいスタイルとなる「スクールDX」を推進する。</p> <p>2 事業概要 (単位：千円)</p>						
区分		内容		予算額		
				R3.2月	R4 当初	
スクールDX推進事業費(新規)	静岡型LMS(ラーニングマネジメントシステム)の構築に向けた調査・研究	校務支援システムとデジタルツールの連携実証 ・静岡型LMSの構成等の検討 ・モデル校におけるデジタルツール実証 ほか		—	9,520	
		基盤整備の最適化 ・中長期的な基盤整備の最適手法の検討		—	7,000	
	GIGAスクール運営支援センターの設置	ヘルプデスク開設 ・県立学校からの照会対応 ・技術支援のための現地派遣		—	49,000	
		学校現場のICT活用支援 ・授業改善のための県立高校へのICT支援員派遣 (県立130校・延べ240回程度) ほか		—	12,680	
GIGAスクールサポート充実事業費	高校生1人1台端末環境の推進	県立高校の生徒貸出用端末の整備 ・対象：貸与が必要な県立高校の生徒 ・台数：12,654台		560,000	—	
計				560,000	78,200	

事業名	部活動指導関連事業費	予算額	R4	126,168 千円	担当課(室)	健康体育課
			R3	94,535 千円		

1 事業目的

部活動の充実した指導の実現や教職員の多忙化の解消を図るため、部活動指導員を配置、育成するとともに外部指導者等の派遣を実施する。

2 事業概要

(単位：千円)

区分		内容	R4 当初
部活動指導員育成配置事業費	県立高等学校	県立高等学校に部活動指導員を配置 ・育成枠：23 人（新規） ・通常枠：56 人（12 人増員） ※育成枠：8 月までは顧問教員等の指導監督のもと部活動指導を実施	65,868
	市町立中学校	部活動指導員を配置する市町に対して助成 ・補助率：2/3 ・指導員：75 人	27,232
	小 計		
スポーツ人材活用推進事業費	しずおか型部活動推進事業	県立高等学校等の部活動への外部指導者派遣 ・スポーツエキスパート 97 人 ・文化の匠 114 人 ほか	25,236
	人材バンク管理運営	地域人材等を指導者として登録し活用 ・学校と指導者のマッチング ・指導者研修会の実施 ほか	7,832
	小 計		
計			126,168

事業名	新時代を拓く高校教育推進事業費	予算額	R4	100,000 千円	担当課(室)	高校教育課														
			R3	100,000 千円																
	R4		13,000 千円																	
	R3		－ 千円																	
<p>1 事業目的 新しい時代に対応した魅力ある高等学校を実現するため、普通科改革、新学科等の具現化、実学系学科の産学官連携等を進める。</p> <p>2 事業概要 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>R4 当初</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新時代を拓く高校教育推進事業費</td> <td>           オンライン・ハイスクール            イノベーションハイスクール            ・文系・理系をバランスよく学びレベルアップの推進            アカデミックハイスクール            ・SDG s等の学際・領域横断的な新たな社会課題の探究            グローカルハイスクール            ・地域協働による地域社会の課題解決に向けた探究            フューチャーハイスクール            ・過疎地域等の小規模校の地域に開かれた学校づくり            運営指導委員会            ・有識者による指定校の選定・評価         </td> <td>65,000</td> </tr> <tr> <td>           プロフェッショナルへの道            未来へのスペシャリスト育成            ・産業界・大学連携による技術・技能習得            パワーアップチャレンジプログラム            ・他県高校生との競い合いによる技術向上            実学チャレンジフェスタ            ・実学高校の技術・技能を小中学生に発信            農林水産業スマート技術活用人材育成 (新規)            ・スマート農業、水産に関する先端技術研修         </td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>マイスター・ハイスクール事業費 (新規)</td> <td>           マイスター・ハイスクールを指定し、産業界他関係者一体となってカリキュラムの刷新やコース、学科改編等を実践            ・事業への指導・助言を行うマイスター・ハイスクールCEOを企業等から招聘            ・産業実務家教員として企業等の技術者・研究者等を招聘         </td> <td>13,000</td> </tr> </tbody> </table>							区分	内容	R4 当初	新時代を拓く高校教育推進事業費	オンライン・ハイスクール イノベーションハイスクール ・文系・理系をバランスよく学びレベルアップの推進 アカデミックハイスクール ・SDG s等の学際・領域横断的な新たな社会課題の探究 グローカルハイスクール ・地域協働による地域社会の課題解決に向けた探究 フューチャーハイスクール ・過疎地域等の小規模校の地域に開かれた学校づくり 運営指導委員会 ・有識者による指定校の選定・評価	65,000	プロフェッショナルへの道 未来へのスペシャリスト育成 ・産業界・大学連携による技術・技能習得 パワーアップチャレンジプログラム ・他県高校生との競い合いによる技術向上 実学チャレンジフェスタ ・実学高校の技術・技能を小中学生に発信 農林水産業スマート技術活用人材育成 (新規) ・スマート農業、水産に関する先端技術研修	35,000	計		100,000	マイスター・ハイスクール事業費 (新規)	マイスター・ハイスクールを指定し、産業界他関係者一体となってカリキュラムの刷新やコース、学科改編等を実践 ・事業への指導・助言を行うマイスター・ハイスクールCEOを企業等から招聘 ・産業実務家教員として企業等の技術者・研究者等を招聘	13,000
区分	内容	R4 当初																		
新時代を拓く高校教育推進事業費	オンライン・ハイスクール イノベーションハイスクール ・文系・理系をバランスよく学びレベルアップの推進 アカデミックハイスクール ・SDG s等の学際・領域横断的な新たな社会課題の探究 グローカルハイスクール ・地域協働による地域社会の課題解決に向けた探究 フューチャーハイスクール ・過疎地域等の小規模校の地域に開かれた学校づくり 運営指導委員会 ・有識者による指定校の選定・評価	65,000																		
	プロフェッショナルへの道 未来へのスペシャリスト育成 ・産業界・大学連携による技術・技能習得 パワーアップチャレンジプログラム ・他県高校生との競い合いによる技術向上 実学チャレンジフェスタ ・実学高校の技術・技能を小中学生に発信 農林水産業スマート技術活用人材育成 (新規) ・スマート農業、水産に関する先端技術研修	35,000																		
計		100,000																		
マイスター・ハイスクール事業費 (新規)	マイスター・ハイスクールを指定し、産業界他関係者一体となってカリキュラムの刷新やコース、学科改編等を実践 ・事業への指導・助言を行うマイスター・ハイスクールCEOを企業等から招聘 ・産業実務家教員として企業等の技術者・研究者等を招聘	13,000																		

事業名	スクール・サポート・スタッフ 配置事業費	予算額	R4	434,400 千円	担当課(室)	義務教育課 特別支援教育課 私学振興課
			R3	441,653 千円		
	特別支援学校新型コロナ対策業 務サポート事業費		R4	121,100 千円		
			R3	122,700 千円		
	私立学校サポートスタッフ配置 等事業費助成		R4	18,480 千円		
			R3	25,000 千円		

### 1 事業目的

教員の多忙化解消と学校教育の質の向上を図るため、教員の事務作業全般を支援するスクール・サポート・スタッフを配置する。

### 2 事業概要

(単位：千円)

区分	内容	R4 当初
スクール・サポート・スタッフ配置事業費(義務教育課)	印刷・配布準備や採点業務補助及び換気、消毒等の感染症対策を行うスクール・サポート・スタッフの配置 ・対象 公立小中学校 (476 校) (政令市を除く全ての小中学校)	434,400
特別支援学校新型コロナ対策業務サポート事業費(特別支援教育課)	換気、消毒等の感染症対策を行うスクール・サポート・スタッフの配置 ・対象 県立特別支援学校 (29 校) (高等部分校を除く全ての県立特別支援学校)	121,100
私立学校サポートスタッフ配置等事業費助成(学習指導員等配置分)(私学振興課)	補習授業等を行う学習指導員、感染症対策を行うスクール・サポート・スタッフの追加配置 ・対象 私立小中高校及び特別支援学校 (22 校)	18,480

事業名	県立学校等施設整備事業費	予算額	R4	4,506,300千円	担当課室	教育施設課
			R3	2,216,600千円		
	県立学校等長寿命化事業費		R4	9,546,100千円		
			R3	4,418,700千円		
	県立学校等修繕費		R4	2,194,800千円		
			R3	1,634,100千円		

1 事業目的

県立学校の教育環境を充実させるため、新たな学校の整備、老朽化に伴う建替え、空調の設置等を行う。

2 事業概要

(1) 県立学校等施設整備事業費

(単位：千円)

区分		内容	R4当初
特別支援学校整備	静岡地区新特別支援学校	建築設計委託 ほか	201,503
	御殿場・裾野地区特別支援学校新分校	改修設計委託	11,013
	東部特別支援学校伊東分校	改修設計委託	26,900
	東部特別支援学校川奈分校	解体工事	93,210
	浜松特別支援学校磐田分校	改修工事	1,262
	袋井、浜松特別支援学校	プレハブ校舎リース料	6,858
	静岡北特別支援学校	プレハブ校舎設計(期間R3~4)	3,575
プレハブ校舎リース料		36,740	
高等学校整備	伊豆伊東高等学校 (R5.4月開校)	建築工事 ほか	2,893,771
	志榛地区新構想高等学校	改修工事 ほか	532,219
	浜松大平台高等学校、科学技術高等学校、遠江総合高等学校	PFI サービス購入料	699,249
計			4,506,300

(2) 県立学校等長寿命化事業費

(単位：千円)

区分		内容	R4当初
老朽化対策	沼津工業高等学校、清水東高等学校、焼津水産高等学校、磐田南高等学校 (2棟) <R元着手>	改築設計・工事 ほか	8,435,632
	藤枝東高等学校、沼津商業高等学校 (2棟)、島田高等学校 (2棟) <R2着手>		
	焼津中央高等学校、富士宮北高等学校、浜松工業高等学校、清水西高等学校、富士宮東高等学校 <R3着手>		
	静岡東高等学校 (2棟)、浜松南高等学校 (2棟) <R4着手>		
	計画保全	外壁改修、屋上防水改修 ほか	1,106,752
学校施設保全システム	保守管理	3,716	
計			9,546,100

(3) 県立学校等修繕費

(単位：千円)

区分	内容	R4当初
県立学校等の教育環境整備	経常的修繕、大規模修繕 ほか	2,000,000
	空調整備	194,800
計		2,194,800

事業名	生徒指導関連事業費	予算額	R4	496,063千円	担当課 (室)	義務教育課 高校教育課 私学振興課
			R3	419,618千円		

1 事業目的

いじめ、不登校等の早期解決を図るため、きめ細かな相談体制や支援体制を確立する。

2 事業概要

(単位：千円)

区分	内容	R4 当初
ハートフルサポート充実事業費 (義務教育課)	対象 公立小中学校及び特別支援学校 ・スクールカウンセラーの配置 329人工 (13人工増員) ・スクールソーシャルワーカーの配置 55人工 (4人工増員) ・不登校未然防止のための調査研究 ・生徒指導上の諸課題対策会議の開催等 ほか	391,700
きめ細かな生徒支援充実事業費 (スクールカウンセラー等配置分) (高校教育課)	対象 県立高校 ・スクールカウンセラーの配置 35人工 (10人工増員) ・スクールソーシャルワーカーの配置 11人工 (5人工増員) ・介助員の配置 3人工 ・外部専門家の配置 (公認心理師、精神科医等) ・生徒の居場所づくりのための「気づきカフェ」設置 ほか	78,998
生徒指導等推進事業費 (高校) (高校教育課)	対象 県立高校 ・いじめ問題等対策連絡協議会の設置運営 ・学校教育相談員による学校に寄せられる苦情への対応 ほか	4,965
私立学校サポートスタッフ配置等事業費助成 (スクールカウンセラー等配置分) (私学振興課)	対象 私立小中高校及び特別支援学校 (34校) ・スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置 ・不登校児童生徒の学習機会の確保支援 補助率：10/10 (上限600千円/校)	20,400
計		496,063

事業名	医療的ケア児関連事業費(新規)	予算額	R4	32,308 千円	担当課(室)	障害福祉課 特別支援教育課 こども未来課
			R3	— 千円		

1 事業目的

医療的ケア児等が地域で安心して生活できるようにするため、医療的ケア児支援センターを新設するとともに、在籍する学校、施設に人材を配置する。

2 事業概要

(単位：千円)

区分		内容	R4当初
医療的ケア児等 総合支援事業費 (新規) (障害福祉課)	相談体制 の整備	医療的ケア児支援センターの設置 ・看護師等を2人配置	11,000
	人材の 育成・養成	ケアスタッフの養成 ・介護従事者養成研修：80人 ・看護従事者養成研修：80人  医療的ケア児等コーディネーターの養成	3,574
	広報・ 情報提供	・当事者家族向けの制度説明会・個別相談会の開催 ・高等学校等での講義	1,439
	関連機関 との連携	・連絡調整会議 ・ネットワーク会議	1,987
	小計		
特別支援学校人工呼吸器装用児 受入体制整備モデル事業費 (新規) (特別支援教育課)	人工呼吸器を装用する医療的ケア児のために専任看護師を配置 ・中央特別支援学校	3,300	
保育対策等促進事業費助成 (うち医療的ケア児分)(新規) (こども未来課)	看護師等の配置に要する経費や、医療的ケア児への対応に関する研修受講経費等への支援 ・富士宮市、島田市	11,008	
計			32,308



事業名	外国人児童生徒支援関連事業費	予算額	R4	40,950 千円	担当課(室)	義務教育課 高校教育課
			R3	34,200 千円		
<p>1 事業目的 外国人等の学ぶ機会を拡充するため、日本語教育の充実、外国人児童生徒の実情に応じたきめ細かな支援を行う。</p>						
<p>2 事業概要 (単位：千円)</p>						
区分	内 容		R4 当初			
日本語指導を必要とする子ども支援事業費(義務教育課)	「やさしい日本語」の活用推進のための研修会の開催 ・年6回		651			
	外国人児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを円滑に行うための翻訳機配備(75台)		2,849			
	外国人児童生徒に日本語指導を行う非常勤講師の配置 ・非常勤講師 60人		(定数措置)			
	小 計		3,500			
外国人等学ぶ機会拡充事業費(義務教育課)	外国人児童生徒への母語支援、日本語指導 ・相談員 4人		5,157			
	外国人児童生徒の保護者、教職員への助言等 ・スーパーバイザー 2人、日本語指導コーディネーター 4人		10,136			
	連絡協議会 ・支援体制の整備や特別の教育課程の実施状況に関する情報交換		107			
	小 計		15,400			
きめ細かな生徒支援充実事業費(外国人生徒支援分)(高校教育課)	学習支援員の配置 ・外国人選抜実施校(15校)		6,750			
	生徒の実情に応じたキャリアプランの作成 ・キャリアコンサルティング技能士 3人		6,238			
	日本語能力に応じた学習内容の支援 ・コーディネーター 3人 企業等との連携による日本語学習講座の開催 ・21校		9,062			
	小 計		22,050			
計			40,950			

事業名	国際バカロレア教育導入推進事業費(新規)	予算額	R4	2,000 千円	担当課(室)	高校教育課
			R3	－ 千円		

1 事業目的

本県が育成する「有徳の人」が、グローバル化の進展に伴い真に国際社会で活躍できる人材となるよう、県立高等学校への国際バカロレア教育の導入を推進する。

2 事業概要

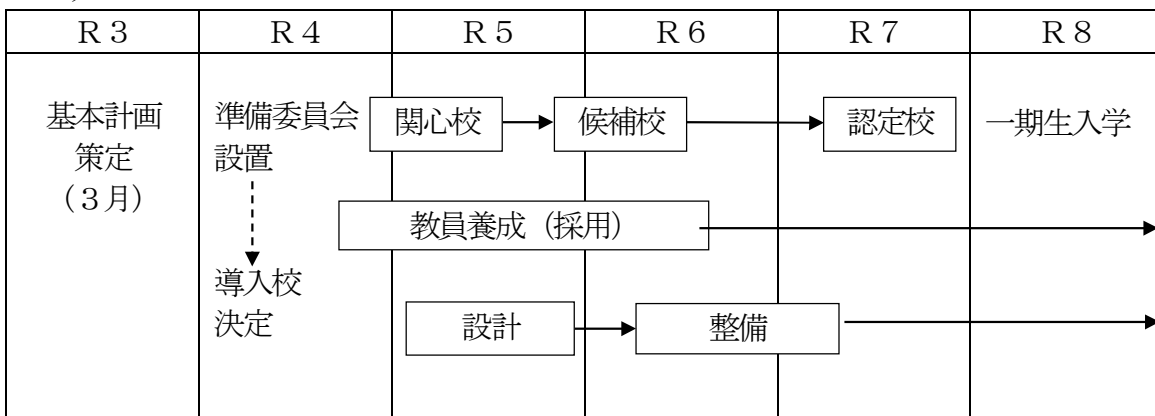
(単位：千円)

区分	内容	R4 当初
調査研究等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進校訪問</li> <li>・ワークショップ受講(教員養成)</li> </ul>	2,000

3 国際バカロレア教育の概要

区分	内容
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題論文、批判的思考の探究等の特色的なカリキュラム</li> <li>・双方向・協働型授業</li> <li>・グローバル化に特化した素養・能力を育成するプログラム</li> </ul>
認定校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界 155 以上の国・地域で約 5,000 校(うち国内 59 校)</li> <li>神奈川県立横浜国際高校ほか</li> </ul>

4 スケジュール



事業名	県立中央図書館関連事業費	予算額	R4	124,800 千円	担当課(室)	社会教育課
			R3	374,000 千円		

### 1 事業目的

老朽化の進む県立中央図書館の東静岡駅南口県有地への全館移転整備に向け、建築設計業務等を実施するとともに、全ての県民の「知る」「学ぶ」を支えるため、県立図書館ならではの資料とサービスの充実を図る。

### 2 事業概要

(単位：千円)

区分	内容	R4 当初
新 県 立 中 央 図 書 館 整 備 事 業 費	県立中央図書館の全館移転整備 ・基本・実施設計 ・基本設計における建築コストの適正管理 (コンストラクションマネジメント)	33,800
県 立 中 央 図 書 館 資 料 充 実 費	県立中央図書館の資料・サービスの充実 ・図書、地域資料等の購入 ・電子書籍の購入 (1,000 点) ・貴重書の補修 ほか	91,000
計		124,800

### 3 施設の概要

区分	現図書館	新図書館
所在地	静岡市駿河区谷田	静岡市駿河区東静岡
完成年度	昭和43年度	令和8年度(予定)
延床面積	8,817 m <sup>2</sup>	19,680 m <sup>2</sup> 程度

### 4 スケジュール

R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
● 計画策定	→ 設計者公募	→ 建築設計			→ 工事	● 完成

事業名	夜間中学設置事業費	予算額	R4	47,100 千円	担当課(室)	義務教育課																																			
			R3	2,000 千円																																					
<p>1 事業目的          全ての在住者に義務教育の機会を提供するため、静岡県立夜間中学（ナイト・スクール・プログラム）を設置し、誰一人取り残さない学びの提供を目指す。</p> <p>2 夜間中学の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校名</td> <td>ふじのくに中学校</td> </tr> <tr> <td>開校時期</td> <td>令和5年4月</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>本 校：磐田市（磐田市学習交流センター内） 分教室：三島市（静岡県立三島長陵高等学校内）</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業概要 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>R4 当初</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市 町 等 連 携</td> <td>市町等調整及び住民説明会の開催</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>研 究 ・ 視 察</td> <td>先進県の視察等 ・先進県視察、設置場所監理等</td> <td>1,119</td> </tr> <tr> <td>教 員 研 修</td> <td>教員の長期派遣研修</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>広報・入学者募集</td> <td>入学希望説明会の開催、PRポスター、チラシ作成</td> <td>517</td> </tr> <tr> <td>教育体制整備</td> <td>授業用教科書・教材整備 遠隔教育実施環境の整備 教育実施に必要な備品の整備</td> <td>8,507</td> </tr> <tr> <td>P C 整 備</td> <td>生徒用タブレット、データセンター等の整備</td> <td>4,899</td> </tr> <tr> <td>施 設 整 備</td> <td>磐田キャンパス及び三島キャンパスの電気・機械設備 工事、教室等改修 ・LAN配線工事、電話新設、空調設備等</td> <td>31,456</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>47,100</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	場 所	学校名	ふじのくに中学校	開校時期	令和5年4月	設置場所	本 校：磐田市（磐田市学習交流センター内） 分教室：三島市（静岡県立三島長陵高等学校内）	区 分	内 容	R4 当初	市 町 等 連 携	市町等調整及び住民説明会の開催	470	研 究 ・ 視 察	先進県の視察等 ・先進県視察、設置場所監理等	1,119	教 員 研 修	教員の長期派遣研修	132	広報・入学者募集	入学希望説明会の開催、PRポスター、チラシ作成	517	教育体制整備	授業用教科書・教材整備 遠隔教育実施環境の整備 教育実施に必要な備品の整備	8,507	P C 整 備	生徒用タブレット、データセンター等の整備	4,899	施 設 整 備	磐田キャンパス及び三島キャンパスの電気・機械設備 工事、教室等改修 ・LAN配線工事、電話新設、空調設備等	31,456	計		47,100
区 分	場 所																																								
学校名	ふじのくに中学校																																								
開校時期	令和5年4月																																								
設置場所	本 校：磐田市（磐田市学習交流センター内） 分教室：三島市（静岡県立三島長陵高等学校内）																																								
区 分	内 容	R4 当初																																							
市 町 等 連 携	市町等調整及び住民説明会の開催	470																																							
研 究 ・ 視 察	先進県の視察等 ・先進県視察、設置場所監理等	1,119																																							
教 員 研 修	教員の長期派遣研修	132																																							
広報・入学者募集	入学希望説明会の開催、PRポスター、チラシ作成	517																																							
教育体制整備	授業用教科書・教材整備 遠隔教育実施環境の整備 教育実施に必要な備品の整備	8,507																																							
P C 整 備	生徒用タブレット、データセンター等の整備	4,899																																							
施 設 整 備	磐田キャンパス及び三島キャンパスの電気・機械設備 工事、教室等改修 ・LAN配線工事、電話新設、空調設備等	31,456																																							
計		47,100																																							

事業名	ふじのくに「個が輝く」人材育成事業費(新規)	予算額	R4	8,000 千円	担当課(室)	教育政策課
			R3	— 千円		
	「しずおか寺子屋」推進事業費		R4	10,250 千円		社会教育課
			R3	4,640 千円		

1 事業目的

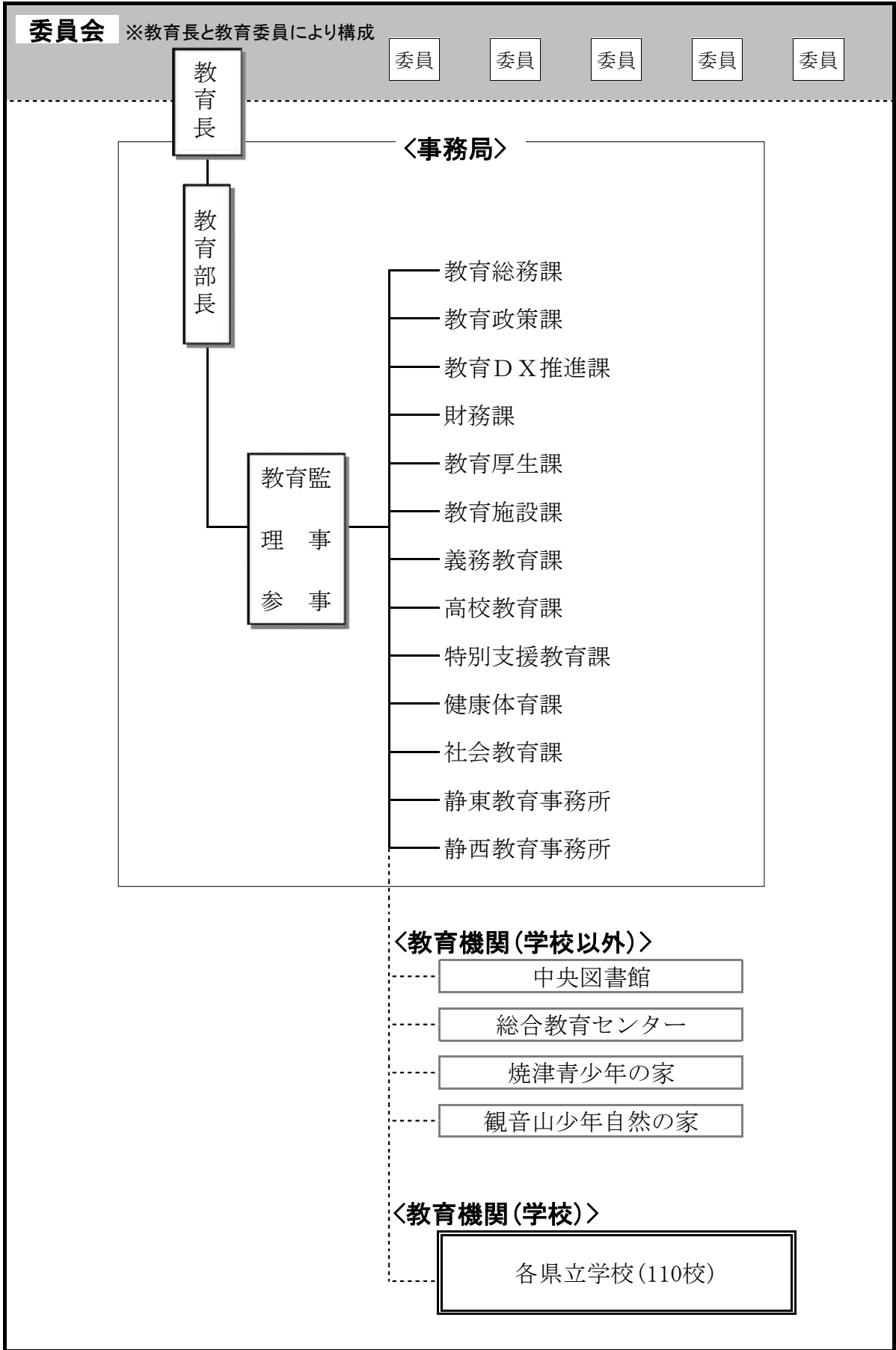
社会総がかりで取り組む教育を推進するため、寄附金の活用等により、子どもや家庭を支える体制づくりや、グローバル・ローカル人材の育成を推進する。

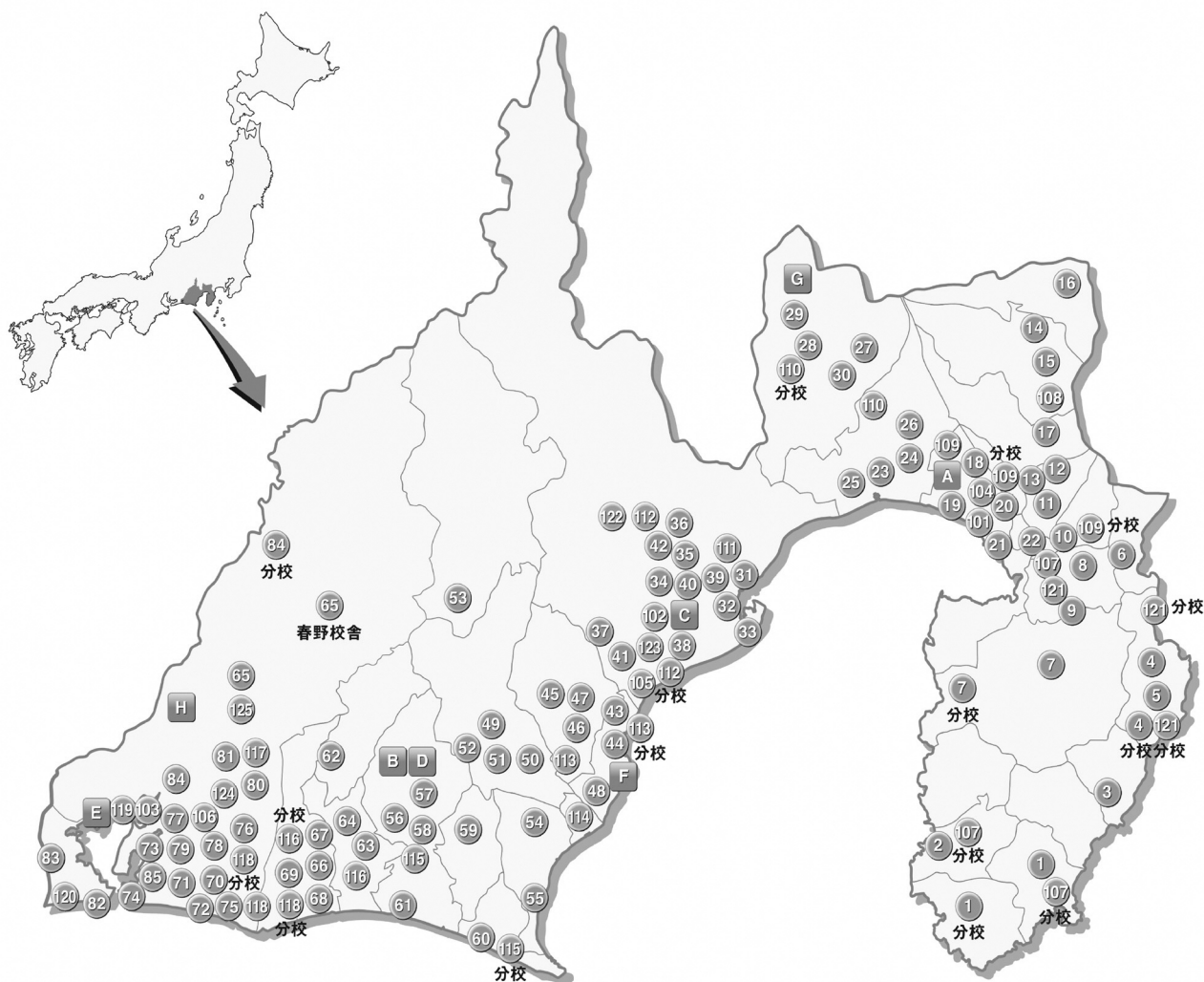
2 事業概要

(単位：千円)

区 分		内 容	R4 当初
ふじのくに「個が輝く」人材育成事業費(新規)	家庭や地域における教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向け教育情報の提供</li> <li>・高校生の読書推進</li> </ul>	8,000
	グローバル・ローカル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs スクールアワードの開催 1回</li> <li>・Dream授業・賀茂版の開催 1回</li> <li>・生徒企画の「ゆめ授業」の実現 10校程度</li> </ul>	
「しずおか寺子屋」推進事業費	学 習 寺子屋	地域住民による学習支援を実施する市町へ助成(16市町)	10,250
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助率：2/3</li> </ul>	
	体 験 寺子屋(新規)	高校生を活用した学習寺子屋のモデル事業実施	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・賀茂地域における学習支援の運営(拡充)</li> </ul>	
パパママ寺子屋(新規)	地域における宿泊・体験活動実施団体へ助成(70団体)		
支援者研修(新規)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助率：1/2</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者視点の家庭教育支援を行う市町へ助成</li> <li>・補助率：2/3</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各支援者ネットワークづくりのための研修会</li> <li>・内 容：グループワーク、事例発表 ほか</li> <li>・人 数：40人×3地区</li> </ul>		

教育委員会組織





(令和4年4月1日現在 / as of 2022.4.1)

A	静東教育事務所 Seitou Local Education Office
B	静西教育事務所 Seisei Local Education Office
C	県立中央図書館 Prefectural Central Library
D	県総合教育センター Comprehensive Education Center
E	県立三ヶ日青年の家 Mikkabi Youth Center (指定管理)
F	県立焼津青少年の家 Yaizu Youth & Children's Center
G	県立朝霧野外活動センター Asagiri Field Activity Center (指定管理)
H	県立観音山少年自然の家 Kannyoyama Children's Nature Center

高等学校 Senior High Schools	19	沼津西	41	静岡商業	63	袋井	84	浜松湖北	111	清水
1	下田	20 沼津城北	42	静岡中央	64	袋井商業	" 佐久間分校	112	静岡北	" 南の丘分校
	" 南伊豆分校	21 沼津工業	43	焼津中央	65	天竜	" 春野校舎	85	浜松大平台	113 藤枝
2	松崎	22 沼津商業	44	焼津水産	"	"				" 焼津分校
3	稲取	23 吉原	45	藤枝東	66	磐田南	33	清水南中等部	114	吉田
4	伊東	24 吉原工業	46	藤枝西	67	磐田北	71	浜松西中等部	115	掛川
	" 城ヶ崎分校	25 富士	47	藤枝北	68	磐田農業				" 御前崎分校
5	伊東商業	26 富士東	48	清流館	69	磐田西	101	沼津視覚	116	袋井
6	熱海	27 富士宮東	49	島田	70	浜松北	102	静岡視覚	117	" 磐田見付分校
7	伊豆総合	28 富士宮北	50	島田工業	71	浜松西	103	浜松視覚	118	浜北
	" 土肥分校	29 富士宮西	51	島田商業	72	浜松南	104	沼津聴覚	118	浜松
8	韮山	30 富岳館	52	金谷	73	浜松湖東	105	静岡聴覚		" 磐田分校
9	伊豆中央	31 清水東	53	川根	74	浜松湖南	106	浜松聴覚		" 城北分校
10	田方農業	32 清水西	54	榛原	75	浜松江之島	107	伊豆の国	119	浜松みをつくし
11	三島南	33 清水南	55	相良	76	浜松東	"	" 伊豆下田分校	120	浜名
12	三島北	34 静岡	56	掛川東	77	浜松工業	"	" 伊豆崎分校	121	東部
13	三島長陵	35 静岡城北	57	掛川西	78	浜松城北工	108	御殿場		" 伊東分校
14	御殿場	36 静岡東	58	掛川工業	79	浜松商業	109	沼津		" 伊豆高原分校
15	御殿場南	37 静岡西	59	小笠	80	浜名	"	" 伊豆田方分校	122	中央
16	小山	38 駿河総合	60	池新田	81	浜北西	"	" 愛鷹分校	123	静岡南部
17	裾野	39 静岡農業	61	横須賀	82	新居	110	富士	124	西部
18	沼津東	40 科学技術	62	遠江総合	83	湖西	"	" 富士宮分校	125	天竜

【参考】静岡県教育振興基本計画（2022年度～2025年度）成果指標・活動指標一覧

（教育委員会所管抜粋）

第1章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

政策体系	指標区分	指標名	現状値	目標値	総合計画
1-1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実					
(1) 個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学び					
成果		全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合	(2021年度) 小 0% 中 100%	(毎年度) 小 100% 中 100%	○
成果		学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると答える児童生徒の割合	(2021年度) 小 78.2% 中 79.8%	(2025年度) 小 80.0% 中 80.0%	
活動		授業の内容がよく分かると答える児童生徒の割合	(2020年度) 小 90.0% 中 85.4% 高 79.9% 特 92.3%	(2025年度) 小 93% 中 92% 高 90% 特 100%	
活動		学校の授業以外で1日当たり1時間以上勉強している児童生徒の割合	(2021年度) 小 66.5% 中 79.2%	(2025年度) 小 75% 中 80%	○
活動		全国学力・学習状況調査の問題や結果を活用した学校の割合	(2020年度) 小 83.3% 中 77.6%	(2025年度) 小 100% 中 100%	
活動		地域等と連携して協働的・探究的な学習を実施する県立高等学校数	—	(2025年度) 90校	
活動		県立高等学校における中学生一日体験入学の一人当たりの参加校数	(2019年度) 1.73校	(2025年度) 1.76校	
(2) ICT等の活用による新たな学びの展開					
成果		授業中にICTを活用して習熟度別学習や協働学習など専門的な指導ができる教員の割合	(2020年度) 65.7%	(2025年度) 100%	○
活動		日常的に授業でICTを活用した学校の割合	(2020年度) 94.1%	(毎年度) 100%	○
活動		ICT活用に係る研修を受講した教員の割合	(2020年度) 48.8%	(2025年度) 90%	
活動		研修管理システムに蓄積・共有化した授業動画数	(2020年度) 30本	(2025年度) 総本数60本以上	
活動		県立学校の普通教室の無線LANアクセスポイントの整備率	(2020年度) 高 90.9% 特 96.9%	(2025年度) 高 100% 特 100%	
活動		教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	(2020年度) 1.6人	(2025年度) 1人	
活動		情報モラルに関する教育活動を実施した学校の割合	(2020年度) 小 100% 中 100% 高 97.1% 特 97.3%	(毎年度) 小 100% 中 100% 高 100% 特 100%	○
活動		小中学校ネット安全・安心講座実施件数	(2016～2020年度) 平均223件	(毎年度) 220件	
活動		情報活用の基盤となる知識や態度について指導できる教員の割合	(2020年度) 81.1%	(2025年度) 100%	○
活動		ケータイ・スマホルールアドバイザー養成人数	(2020年度) 137人	(毎年度) 130人	
活動		ケータイ・スマホルールアドバイザーによる啓発人数	(2020年度) 9,679人	(2025年度) 18,000人	○
(3) 乳幼児期の教育・保育の充実					
成果		幼児教育アドバイザー等配置市町数	(2021年度) 30市町	(2025年度) 35市町 (全市町)	○
活動		教育活動の円滑な接続に向けて小学校と連携を実施した幼稚園等の割合	(2020年度) 89.8%	(毎年度) 100%	○
活動		幼児教育施設の保育者と小学校等の教員の合同研修を実施した市町数	(2020年度) 24市町	(2025年度) 33市町 (政令市を除く全市町)	○



政策体系	指標区分	指標名	現状値	目標値	総合計画
<b>(4) 子どもの読書活動の推進</b>					
成果		家庭や地域で1週間に1回以上本に親しむ児童生徒の割合	(2020年度) 小 59.2% 中 42.9% 高 29.9% 特 53.8%	(2025年度) 小 70% 中 47% 高 34% 特 65%	
成果		県内市町立図書館の児童図書の年間貸出冊数(12歳以下の子ども1人あたり)	(2020年度) 20.8冊	(2025年度) 24.0冊	
活動		読書ガイドブック「本ともだち」を活用した小・中学校の割合	(2020年度) 小 85.2% 中 73.5%	(2025年度) 小 90% 中 80%	
活動		子ども読書アドバイザーとして活動する人の数	(2020年度) 209人	(毎年度) 210人	
活動		「読書の時間」の実施率	(2020年度) 高 69.8%	(2025年度) 高 80%	
活動		学校司書等を配置している学校の割合	(2020年度) 小 86.2% 中 84.1% 高 82.3%	(2025年度) 小 90% 中 90% 高 90%	

## 1-2 「技芸を磨く実学」の奨励

### (1) 社会的・職業的自立に向けた教育の推進

成果		「キャリア・パスポート」を活用して指導した学校の割合	—	(毎年度) 100%	○
活動		職場見学や職場体験、社会人講話等の活動を実施した学校の割合	(2020年度) 小 49.5% 中 47.6% 高 81.4% 特 86.5%	(毎年度) 小 100% 中 100% 高 100% 特 100%	○
活動		キャリア教育担当教員等が中心となって、校内のキャリア教育を組織的・計画的に行っている学校の割合	(2020年度) 96.9%	(2025年度) 100%	
活動		保育・介護体験実習を行った高等学校の割合	(2020年度) 26.4% (2019年度)100%	(2025年度) 100%	○

### (2) スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進

成果		学校の体育以外での1週間の運動時間	(2020年度) 小5男子 510分 小5女子 330分	(2025年度) 小5男子 560分 小5女子 350分	○
成果		新体カテストで全国平均を上回った種目の割合	(2020年度) 小 52.1% 中 63.0% 高 92.6%	(2025年度) 小 100% 中 100% 高 100%	
活動		体力アップコンテストしずおかに参加した学校の割合	(2020年度) 60.2% (2019年度)87.7%	(2025年度) 100%	○
活動		外部人材を活用した運動部活動指導者の派遣校数	(2020年度) 74校	(2025年度) 90校	○
活動		栄養バランスのとれた朝食をとっている幼児児童生徒の割合	(2020年度) 幼 39.1% 小 46.8% 中 47.3% 高 48.7%	(2025年度) 幼 50% 小 55% 中 50% 高 50%	
活動		児童生徒に対する静岡茶の食育機会の確保に取り組んでいる学校の割合	(2020年度) 84.2%	(2025年度) 100%	

### (3) 多彩で魅力的な文化・芸術の創造・発信

活動		「文化の匠」派遣校数	(2020年度) 84校	(2025年度) 90校	○
----	--	------------	-----------------	-----------------	---

### (4) 地域資源の活用と未来への継承

## 1-3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

### (1) 高等学校等の魅力化・特色化

成果		学校生活に満足している生徒の割合(公立高等学校)	(2020年度) 78.3%	(2025年度) 85%	
活動		授業内容に興味があって学校を選択した生徒の割合(オンリーワン・ハイスクール実施校)	(2020年度) 17.8%	(2025年度) 70%	○

政策体系	指標区分	指標名	現状値	目標値	総合計画
<b>(2) 教職員の資質向上及び学校マネジメント機能の強化</b>					
成果		学校の教員としての自身の仕事にやりがいを感じている割合	(2020年度) 94.2%	(2025年度) 100%	
成果		精神疾患による30日以上の特例休暇及び休職者の在職者比率	(2020年度) 0.8%	(2025年度) 0.7%以下	
成果		教職員の懲戒処分件数	(2020年度) 25件	(毎年度) 0件	
活動		「静岡県教員育成指標」を活用した学校の割合	(2020年度) 85.6%	(2025年度) 100%	
活動		研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた教員の割合	(2020年度) 小 97.2% 中 92.0% 高 81.0% 特 95.5%	(毎年度) 小 100% 中 100% 高 100% 特 100%	○
活動		中高生を対象とした教職セミナー参加者数	(2020年度) 中学生 27人 高校生 114人	(2025年度) 中学生 100人 高校生 300人	
活動		学校関係者評価を公表している学校の割合	(2020年度) 小 88.6% 中 84.1% 高 84.3% 特 94.6% 私立高 95.5%	(2025年度) 小 100% 中 100% 高 100% 特 100% 私立高 100%	
活動		相談できる人がいない教職員の割合	(2021年度) 7.8%	(2025年度) 6.9%以下	
活動		「心の健康づくり計画」を策定済の市町数	(2021年度) 12市町	(2025年度) 35市町 (全市町)	
<b>(3) 教職員の働き方改革の推進</b>					
成果		「児童生徒と向き合う時間」や「指導準備時間」が増えていると感じている教員の割合	(2020年度) 小 54.0% 中 59.7% 高 55.8% 特 59.8%	(2025年度) 小 100% 中 100% 高 100% 特 100%	
活動		割り振られた勤務時間以外に業務に従事した時間が月あたり45時間を超える教員の割合	(2019年度) 小 46.0% 中 63.4% 高 27.5% 特 6.6%	(2025年度) 小 0% 中 0% 高 0% 特 0%	○
活動		多忙化解消に向けた研究成果を活用した学校の割合	(2020年度) 小 92.1% 中 88.8% 高 60.8% 特 89.2%	(2025年度) 小 100% 中 100% 高 100% 特 100%	
活動		勤務時間管理システム等を活用して業務改善を行った学校の割合	—	(2025年度) 100%	○
活動		スクール・サポート・スタッフ配置校数	(2020年度) 小 全校 中 全校	(毎年度) 小 全校 中 全校	
活動		静岡県教職員人材バンク登録者数	(2020年度) 61人	(2025年度) 1,000人	
<b>(4) 学校施設等の安全・安心の確保</b>					
成果		静岡県学校施設中長期整備計画の進捗率	(2020年度) 14%	(2025年度) 32.5%	
成果		児童生徒の年間交通事故死傷者数	(2019年) 2,624人	(2025年) 2,500人以下	
活動		静岡県学校施設中長期整備計画に基づき校舎建替え等に着手した県立学校の棟数	(2020年度) 16棟	(2025年度) 37棟	
活動		「静岡県立特別支援学校施設整備基本計画」に基づき整備が必要とした学校のうち着手した学校の割合	(2021年度) 67%	(2025年度) 100%	
活動		文部科学省作成の「学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン」により危機管理マニュアルや避難訓練等をチェックし改善を行った学校の割合	—	(2025年度) 100%	

## 第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

政策体系	指標区分	指標名	現状値	目標値	総合計画
------	------	-----	-----	-----	------

### 2-1 多様性を尊重する教育の実現

#### (1) 人権を尊重する教育の推進と人権文化の定着

活動	人権教育に関する校内研修を実施した学校の割合	(2020年度) 小 99.4% 中 95.9% 高 94.1% 特 100%	(毎年度) 小 100% 中 100% 高 100% 特 100%	○
----	------------------------	---	---	---

#### (2) 多様な課題に応じたきめ細かな支援

成果	学校に相談できる人がいると答える児童生徒の割合	(2020年度) 小 82.3% 中 82.4% 高 80.0%	(2025年度) 小 100% 中 100% 高 100%	○
活動	スクールカウンセラー配置人数	(2021年度) 小中 139人 高 25人	(2025年度) 小中 169人 高 30人	○
活動	スクールソーシャルワーカー配置人数	(2021年度) 45人	(2025年度) 60人	○
活動	スクールソーシャルワーカー研修会開催回数	(2020年度) 5回	(毎年度) 5回	○
活動	青少年交流スペース「アンダンテ」利用者数	(2020年度) 1,555人	(毎年度) 1,500人	

#### (3) 特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実

成果	特別な支援が必要な幼児児童生徒のうち個別の指導計画が作成されている人数の割合	(2018年度) 幼 93.6% 小 90.3% 中 89.1% 高 49.6%	(2025年度) 幼 100% 小 100% 中 100% 高 100%	○
活動	特別支援教育に関する校内研修を実施した学校の割合	(2020年度) 小 99.4% 中 98.8% 高 92.2%	(2025年度) 小 100% 中 100% 高 100%	
活動	特別な支援が必要な生徒が在籍する高等学校が特別支援学校のセンター的機能を活用した割合	(2018年度) 46.9%	(2025年度) 100%	○
活動	特別支援学校高等部生徒の進路選択のための実習先数	(2020年度) 1,648箇所 (2019年度) 2,005箇所	(毎年度) 1,930箇所	○
活動	共生・共育に係る授業や行事を行った学校の割合	—	(2025年度) 小 100% 中 100% 高 100%	○
活動	居住地域の小・中学校との交流を行った特別支援学校の児童生徒数	(2020年度) 690人 (2019年度) 851人	(2025年度) 1,500人	○

#### (4) 外国人県民・外国人児童生徒への教育の充実

成果	日本語指導を受けた児童生徒のうち、学校を楽しいと答えた割合(小・中学生)	(2020年度) 98%	(毎年度) 98%以上	
活動	外国人児童生徒等に対して必要な支援が実現できている学校の割合	(2020年度) 小 90.6% 中 91.3% 高 89.5%	(毎年度) 小 100% 中 100% 高 100%	○
活動	就学状況等調査・就学案内実施市町数	(2020年度) 35市町 (全市町)	(毎年度) 35市町 (全市町)	○
活動	外国人生徒の進路実現に向けた日本語能力検定の取得割合	(2020年度) 高 75.0%	(2025年度) 高 80.0%	

### 2-2 グローバル・グローバル人材の育成

#### (1) 国際的な学びと地域学の推進

成果	中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル以上の英語力を達成した中高生の割合	(2019年度) 中 38.0% 高 48.2%	(2025年度) 50%	○
活動	ふじのくにグローバル人材育成基金による海外交流者数	(2017~2020年度) 累計688人	(2022~2025年度) 累計1,000人	○
活動	海外修学旅行を実施した高等学校の割合	(2020年度) 0% (2019年度) 32.6%	(2025年度) 40%	○
活動	青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアへ参加した教職員数	(2019年度) 小中 2人 高 1人 特 1人	(毎年度) 小中 3人 高 1人 特 1人	
活動	グローバルハイスクール指定校数	(2020年度) 3校	(2025年度) 延べ21校	
活動	A L Tによる授業を実施した高等学校の割合	(2020年度) 100%	(2025年度) 100%	
活動	外国語・外国語活動の授業に自信を持つ小学校教員の割合	(2021年度) 45%	(2025年度) 70%	
活動	中学校の英語の授業において発話の半分以上を英語で行っている教員の割合	(2019年度) 78%	(2025年度) 100%	
活動	地域を学ぶフィールドワークを実施した高等学校数	—	(毎年度) 90校	

政策体系	指標区分	指標名	現状値	目標値	総合計画
<b>(2) 優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実</b>					
成果		自分の将来に対する夢や希望を持っている生徒の割合	(2020年度) 中 72.4% 高 74.7%	(毎年度) 中 80% 高 90%	
成果		自然科学やものづくりに関心があると答える児童生徒の割合	(2020年度) 小 75.6% 中 71.6% 高 56.1%	(2025年度) 小 80% 中 80% 高 75%	
活動		「わたしの主張」静岡県大会への参加者数	(2021年度) 12,300人	(毎年度) 13,000人	
活動		青少年指導者の級位認定者数	(2019年度) 2,845人	(毎年度) 2,800人	
活動		専門高等学校及び総合学科で大学・専門学校等での研究体験に参加した生徒数	(2021年度) 276人	(毎年度) 300人	
活動		国際数学・化学・生物・物理オリンピックへの出場者数	(2020年度) 301人	(毎年度) 500人	
活動		科学の甲子園静岡県予選への出場者数	(2017～2020年度) 累計1,195人	(2022～2025年度) 累計1,400人	○
活動		ボランティア活動等の社会貢献(奉仕)活動を実施した学校の割合	(2020年度) 小 45.1% 中 56.5%	(2025年度) 小 85% 中 95%	
<b>(3) 地域産業を担う人材の育成</b>					
成果		高等学校における就職支援コーディネーターによる面接相談・就職指導による就職内定率	(2020年度) 96.7%	(2025年度) 100%	
活動		専門高等学校及び総合学科で高度技術者の招聘を実施した学校数	(2020年度) 27校	(2025年度) 41校	
活動		専門高等学校で地域住民対象の体験講座等を実施した学校の割合	—	(2025年度) 100%	
<b>(4) 自他の安全を守るために適切な判断・行動のできる人材の育成</b>					
成果		地域で行われた防災訓練への児童生徒の参加率	(2020年度) — (2019年度)58%	(2025年度) 100%	○
活動		県立及び市町立学校・園の「防災教育推進のための連絡会議」の実施率	(2020年度) 71%	(2025年度) 100%	
<b>(5) 環境保全と経済活動の両立を支える人材の育成</b>					

## 2-3 高等教育の充実

### (1) 高等教育機能の強化

## 2-4 生涯を通じた学びの機会の充実

### (1) 全世代に対する学びの機会の充実

成果		静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼっと」ユーザー数	(2020年度) 16,355人	(毎年度) 20,000人	
成果		県内公立図書館の県民1人あたり年間貸出数	(2020年度) 5.1点	(2025年度) 6点	
活動		公民館・生涯学習施設等の講座・学級開催回数	(2020年度) 3,565回	(2025年度) 4,500回	○
活動		しずおか県民カレッジ連携講座数	(2020年度) 7,791回	(毎年度) 8,000回	
活動		ゆうゆうポイントラリーで認定証を授与した児童生徒数	(2019年度) 216人	(毎年度) 250人	
活動		静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼっと」情報発信総数	(2020年度) 8,721回	(毎年度) 9,000回	
活動		県立中央図書館等が所蔵する貴重書・地域資料をデジタル化したふじのくにアーカイブの提供資料数	(2020年度) 15,470点	(2025年度) 17,500点	
活動		県立中央図書館の図書等をインターネット予約により市町立図書館等で受領するサービス利用者数	(2020年度) 1,953人	(毎年度) 2,100人	
活動		県民の公立図書館利用登録率	(2020年度) 49.3%	(2025年度) 52%	○

### (2) 誰もがともに学ぶことのできる機会の充実

成果		障害のある人とない人がともに参加できる体制が整った講座を実施している公民館・生涯学習施設の割合	—	(2025年度) 30%	
活動		市町担当者を対象にした障害者の生涯学習推進研修の参加市町数	—	(毎年度) 33市町 (政令市を除く全市町)	

### 第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現

政策体系	指標区分	指標名	現状値	目標値	総合計画
<b>3-1 社会とともにある開かれた教育行政の推進</b>					
<b>(1) 社会全体の意見を反映した教育行政の推進</b>					
活動		Eジャーナルしずおか発行回数	(2020年度) 12回	(毎年度) 12回	
活動		移動教育委員会開催回数	(2020年度) 1回	(毎年度) 5回	
<b>(2) 市町と連携した教育行政の推進</b>					
成果		教育行政上の課題解決に向けて県との意見交換等を実施した市町教育委員会の数	(2021年度) 35市町	(毎年度) 35市町	
活動		市町教育長会議等の開催回数	(2021年度) 15回	(毎年度) 15回	
<b>3-2 地域ぐるみの教育の推進</b>					
<b>(1) 学校・家庭・地域の連携推進</b>					
成果		学校の課題解決や魅力の向上、地域のニーズへの対応に向け、地域の人々が参画し協議する場がある割合	(2020年度) 小 97.2% 中 92.9% 高 83.3% 特 94.6%	(2025年度) 小 100% 中 100% 高 100% 特 100%	○
成果		コミュニティ・スクールを導入した学校の割合	(2020年度) 小中 34.2% 高 11.1% 特 8.1%	(2025年度) 小中 100% 高 100% 特 100%	○
活動		小・中学校における地域学校協働本部の整備率	(2020年度) 63.0%	(2025年度) 85%	○
活動		地域学校協働活動推進員養成講座修了者数	(2020年度) 41人	(毎年度) 50人	
活動		学校・家庭・地域の連携推進研修会参加者数	(2020年度) 137人	(毎年度) 150人	
活動		しずおか寺子屋実施市町数	(2020年度) 9市町	(2025年度) 33市町 (政令市を除く全市町)	
活動		放課後子供教室実施関係学校数	(2020年度) 216校	(2025年度) 400校	
活動		放課後子供教室等安全管理研修会参加者数	(2020年度) 27人	(毎年度) 60人	
<b>(2) 家庭や地域における教育力の向上</b>					
活動		家庭教育基礎講座・フォローアップ研修受講者数	(2020年度) 130人	(毎年度) 230人	
活動		企業内家庭教育講座開催企業数	(2020年度) 7社	(2025年度) 30社	
活動		保護者向けの家庭教育支援活動を実施した園・学校の割合	(2020年度) 73%	(毎年度) 90%	○
活動		専門家の参画や福祉部局等と連携した家庭教育支援チームの強化に取り組む市町数	(2021年度) 4市町	(2025年度) 20市町	
活動		野外教育スタッフ登録者数	(2021年度) 82人	(毎年度) 90人	
活動		青少年ピアカウンセラー認定者数	(2021年度) 10人	(毎年度) 30人	
活動		市町における地域の青少年声掛け運動実施率	(2020年度) 82.9%	(毎年度) 100%	○

【参考】 持続可能な開発目標（SDGs）

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 持続可能な開発目標SDGsとは

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます

【外務省HPより】



SDGsの目標4は、

「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を促進する」

とする教育に特化したもので、10のターゲットから構成されています。

静岡県教育委員会は、「静岡県教育振興基本計画」に掲げる施策を推進し、SDGsの目標の達成を目指します。

---

令和4年度  
教育行政の基本方針と教育予算

発行 令和4年4月

発行者 静岡県教育委員会

編集 教育政策課

420-8601 静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-3168

FAX 054-221-3561

E-mail [kyoui\\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)

<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/>

---

本國有数の美しい「ふじのくに」



Shizuoka Prefecture